

Unazuki Mozart Musikfest

宇奈月モーツァルト音楽祭10周年記念誌





宇奈月にはモーツァルトが似合う



横島勝人



ご挨拶

赤いやまびこ橋の上でホルンを演奏する光景が象徴となった宇奈月モーツァルト音楽祭。多くの皆様のお陰をもちまして、10年の節目を迎えることが出来ました。

2010年に手探りで、また手作りで、そして手弁当で始まったこの音楽祭は、そのサブタイトル「湯の街ふれあい音楽祭 モーツァルト@宇奈月」のとおり、演奏する人、聴く人、運営スタッフそして地元宇奈月温泉街の皆さんの楽しいふれあいが一番の魅力と言っていでしょう。そして、皆が愛するモーツァルトの名曲に触れて気ままに過ごせる時間と空間。これこそが10年間継続して来られた大きな要因だと思っております。

始まりは、宇奈月温泉でモーツァルトの音楽祭を、と地元有志の呼びかけによるものでした。2010年2月に20数名が集まり実行委員会を立ち上げ後、驚異的なスピードで準備が進み、その年の9月に第1回の音楽祭が開催されました。会のスタッフ誰もが未経験で前例の無い「音楽祭」でしたが、楽しい夢の祭りに向かってアイデアを持ち寄り、手作りで第1回目を開催したのです。その結果は上々、その後毎年9月に開催することにより、県内外の多くの皆様の参加により広がりを見せます。

音楽祭のきっかけとなるヒントは、「黒部で第九を歌う会」の指揮指導でお馴染みとなっていた横島勝人先生から頂きました。そしてその後もたくさんのアイデアやアーティストのご紹介を頂いたことで、更に充実した内容の音楽祭へと成長できたものと思います。また、栗津博さんをはじめ多くの優れた若手演奏家の出演もこの音楽祭の魅力となっております。

この10年間を振り返りますと、順調に歩んでこられた要因は関係する皆様のお互いの献身的な活動に対し、心からリスペクトし合いながら楽しく参加してこられたことに尽きると思います。



偉大な作曲家W.A.モーツァルトの音楽は、参加するすべての演奏家や聴衆にとって憧れや癒しであり、楽曲に触れることができることはこの上ない幸せです。こののちも、この幸せを享受できるよういつまでも音楽祭が続くことを切に願うものです。

そして、これまで支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

宇奈月モーツァルト音楽祭実行委員長
篠崎秀一

ご挨拶—10周年を迎えて

宇奈月モーツァルト音楽祭が10周年を迎えましたことを心から喜ぶとともに、音楽祭を支えて下さったすべての関係者に深く感謝申し上げます。

継続は力なりと申しますが、ことを継続するにはいくつかの要素、条件が揃うことが必要です。モーツァルト音楽祭の場合、そうした要素が揃っていたと言えます。その要素を挙げると第一に人、第二に宇奈月の地形と環境、三番目にセレネという拠点、最後に何よりモーツァルトだからです。

人で言えば、実行委員会に集まったメンバーです。勿論協賛して下さった企業や団体、さらに多くの出演者とボランティアがありますが、そうした人々を音楽祭に結集させたのは実行委員会の人たちの情熱と行動力でした。

二番目の宇奈月の地形と環境は最高の自然の贈り物です。宇奈月がザルツブルクに似ているというモーツァルト好きの実行委員会の想いは、豊かな自然と景観に恵まれた宇奈月なればこそその発想です。そして聴衆が歩いて一周できる、ほどよい広さの温泉街の街かどでの演奏が文字通り「ふれあい音楽祭」を可能にしたのです。その温泉街に大ホールを有するセレネがあり、優れた演奏が聴けることは音楽祭にとって欠かせない要素です。

最後に、モーツァルトだから出来た音楽祭ということを強調しなければなりません。モーツァルトはあらゆる演奏者の選択肢に耐え得る作曲家です。そしてモーツァルトの清澄な音楽は「宇奈月に似合う」ということを、私は確信をもって言えます。そのことを全国の人に知ってもらいたいと思います。

音楽祭で宇奈月を訪れる度に、私は宇奈月の街が喜んでいるという実感を覚えます。それはスタッフや演奏者が宇奈月と音楽祭を楽しんでいるからです。私はそこにクラシック音楽が生きるヒント、道があるように思うのです。

この音楽祭は街に力をつけないと継続できません。そのためにも人を育てる、人をつなげることが大切です。そのことが宇奈月モーツァルト音楽祭の新たな魅力を生むのです。



音楽祭芸術監督・指揮者
横島勝人

記念誌発刊を祝して

このたび「宇奈月モーツァルト音楽祭」が10周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。また、平素から黒部市の文化振興に格段のご尽力を賜っておりますことに対し、深く感謝申し上げます。

モーツァルト音楽祭は、宇奈月温泉街の活性化と「大自然のシンフォニー 文化・交流のまち黒部」の実現を図るため、芸術に対して熱い情熱をもった地域の有志ボランティアの皆様により平成22年に発足され、音楽を通じて文化振興や地域の活性化、当市の芸術文化の多様性に大きく貢献している一大音楽祭となっています。

多くの団体・個人の協力・協賛を得て開催されている音楽祭の魅力は、回を重ねるごとに増える参加者数及び観客数にも表れていると実感しております。大自然に囲まれた宇奈月温泉街が、モーツァルトの音楽に包みこまれ、演奏者と聴衆が身近にふれあえる音楽祭として大きく成長し、継続されていますのも主催者である実行委員会の皆様をはじめ、関係団体、企業、地区の皆様、出演者の皆様の多大なご協力と日頃の努力の賜物であると、あらためて敬意を表します。そして世界的にご活躍されております本音楽祭の芸術監督・指揮者の横島勝人様には、これまでの音楽祭の取り組みを成功に導いていただきましたことに、心より感謝と御礼を申し上げます。

今後も、音楽祭の魅力を国内外へ発信され、さらなる活動の深化をご期待申し上げますとともに、芸術文化の振興に努めていただきますことを心より願っております。

結びに、宇奈月にさわやかな風を吹き込んでいただきました皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

黒部市長 大野久芳



祝 辞

宇奈月モーツァルト音楽祭が10周年を迎えられたことにつきまして、主催者の方々、関係者の方々に心からお祝い申し上げます。あたたかい雰囲気と、素晴らしい自然環境とが、この音楽祭を特別なものになっています。

たくさんの音楽愛好家の方々が、ここ宇奈月におけるモーツァルト音楽祭をサポートし、この



の唯一無二の催しに貢献しています。この音楽祭は多彩なプログラムによって、関心の高い音楽愛好家にオーストリアおよびヨーロッパの音楽の伝統を届けているのです。

音楽は、古くからオーストリアと日本を結びつけてきました。音楽は世界共通の言語として、国境を越え、遠くにあるもの同士を結びつけます。モーツァルトの音楽は魂を揺さぶり、心を開かせるものです。

モーツァルトの音楽を遺すために毎年ご尽力くださり、どうもありがとうございます。音楽祭のさらなる繁栄とご発展をお祈り申し上げます。

駐日オーストリア大使館 公使
オーストリア文化フォーラム東京 所長
マリオ・フィールグラダー

Unazuki Mozart Musikfestival

Zum 10-jährigen Bestehen des Unazuki Mozart Musikfestivals gratuliere ich den Veranstaltern und allen Beteiligten herzlich. Die freundliche Atmosphäre sowie die herausragend schöne Naturkulisse machen das Festival zu einem ganz besonderen Erlebnis.

Das Engagement, mit dem so viele Musikliebhaber innen das Mozart-Festival in Unazuki unterstützen, macht es zu einer einmaligen Veranstaltung. Das abwechslungsreiche Programm bringt jedes Jahr vielen interessierten Musikliebhaber innen österreichische und europäische Musiktradition näher.

Musik ist seit jeher ein verbindendes Element der Beziehungen zwischen Österreich und Japan. Als universellste aller Sprachen kennt die Musik keine Grenzen und Nationalitäten und bringt auch Fernes und Fremdes zusammen. Mozarts Musik inspiriert den Geist, berührt die Seele und öffnet Herzen.

Vielen Dank, dass Sie sich seit einem Jahrzehnt alljährlich mit so viel Einsatz um Mozarts musikalischen Nachlass bemühen. Ich wünsche dem Festival weiterhin alles Gute und viel Erfolg – sowie natürlich allen Teilnehmenden viel Vergnügen!

Dr. Mario VIELGRADER
Direktor, Österreichisches Kulturforum Tokio
Gesandter, Österreichische Botschaft Tokio

モーツァルトを架け橋に

宇奈月モーツァルト音楽祭10周年、誠におめでとうございます。

成功すれば当たり前、コロンブスの卵とはよく言ったものです。宇奈月のモーツァルト大好きな地元の人と指揮者横島勝人氏の「宇奈月にはモーツァルトがよく似合う」という言葉が出会って10年。これまで力を合わせて継続してこられた実行委員会の皆様と横島先生に心から感謝と敬意を表します。しかもそのほとんどが委員会を中心とした皆さんの手作り、手弁当の音楽祭は立派です。

私も毎回参加させていただきましたが、一番の思い出は2011年の第2回音楽祭にオーストリア大使館のペーター・シュトラー文化担当参事官を招聘してトークセッションが開かれ、「モーツァルトを架け橋に」のテーマのもと、自然豊かな宇奈月温泉とモーツァルトの生誕地ザルツブルクの交流を誓ったことです。世界遺産のザルツブルクとは歴史や文化、街の規模などは比較にならないのですが、そこに一歩でも近づこうとする取り組みによって宇奈月が活気付くことが出来ると感じた場面でした。

今後も横島先生の情熱的なご指導により宇奈月モーツァルト音楽祭が発展することを心より願っています。

前 黒部市長 堀内康男



音楽祭トークセッション モーツァルトを架け橋に～宇奈月とザルツブルク～（セレネ・小ホール）2011年
○ペーター・シュトラー（オーストリア大使館文化担当参事官）
○エーファ・カペラ（元富山大学ドイツ語講師）
○堀内康男（黒部市長）

物語は横島先生を宇奈月温泉にお連れしたときに始まった

「宇奈月にはモーツァルトが似合う」—指揮者・横島勝人先生を初めて宇奈月温泉にお連れしたとき、カフェモーツァルトでおっしゃったこの言葉が、音楽祭のスタートの引き金をひきました。そこから始まった物語が10年の歴史を刻んだことは大変意義深く、素晴らしいことだと改めて思います。

温泉街の地形から宇奈月を「日本のザルツブルク」と呼んでいた地元モーツァルトファンの熱い思いが形になり始めたのが2008年頃でした。黒部まちづくり協議会の役職を務めていた私の下に何度となく、実現に向けて力を貸してほしいとのお願いが来ました。そんな皆さんの気持ちを受けて何かきっかけと足がかりが欲しいと思っていた矢先、横島先生を宇奈月温泉にお連れし、結果に導けたのは単なる偶然とは思えませんでした。

そして遂に2010年、黒部まちづくり協議会でこの企画を提案し、採択してもらって「湯の街ふれあい音楽祭 モーツァルト@宇奈月」が誕生しました。熱い思いは諦めなければいつか実現する。それを実証し、多年にわたりまちづくりに貢献してくださっているこのイベントに、心からの感謝と賛美を贈ります。



ザルツブルク

元 黒部まちづくり協議会会長
三井適夫



宇奈月温泉街

モーツァルトの不思議な力！

本音楽祭が発足する過程で、当時「黒部で第九を歌う会」事務局長だった三井適夫さんから話があり、「宇奈月モーツァルト音楽祭」の準備委員会に加わりました。

全国的に類を見ないアマチュアの演奏を主体とするモーツァルト音楽祭。実行委員会のみなさんの発想力と行動力なくしては、今日の「宇奈月モーツァルト音楽祭」へ導かれることはなかったイベントです。

初期の企画段階で、音楽祭においては柱となるコンサートがあった方がいいという提案をさせていただきました。そこで東京芸術大学教授で二期会オペラ研修所所長の三林輝夫先生にお願いし、「モーツァルト・オペラ劇場」と銘うって公演を行いました。

現実行委員長の篠崎秀一さんが音楽祭の企画の相談で来宅された際、音楽祭独自のオーケストラを編成する構想を話され、今日に至っていること。ラジオ・ミューの担当する番組で1年半にわたりシリーズでモーツァルトをたどったこと。モーツァルト米や宇奈月モーツァルト麦酒の生産に関わったことなど、モーツァルトの音楽は不思議な力をもたらしてくれました。

この文を書き終えた後は、5度目となるウィーン、ザルツブルク訪問の予定です。

富山短期大学名誉教授
武藤憲夫



三林輝夫教授のモーツァルト・オペラ劇場（宇奈月ニューオータニホテル）2010年
出演 三林輝夫(テノール)、吉野瑛莉子(ソプラノ)、武藤光俊(テノール)、間部栄司(ピアノ)

手作りの音楽祭

最初の取っかかりは上田さんと能勢さんが仕事場に訪ねてこられたところから始まります。『宇奈月がザルツブルクに似ている』、『モーツァルト』、『それに特化した音楽祭』の順の連想ゲームで、「宇奈月の町おこしに結び付けば面白いな」で動き出しました。

まずいつ行うか？ これは宇奈月の観光イベントの端境期が良いと言う事で、おわらと秋の観光シーズンの間、9月の週末に決まりました。また参加者は一般の方々を中心に公募、それも参加費を頂いて、で進めました。当初集まるかどうか心配もしましたが、多くの賛同を得ることが出来ました。

演奏場所に関しては旅館組合を中心に銀行等色々ご協力頂き、観客は無料で楽しんでいただくベースになりました。また費用面からは、町おこしの事もあったので当時の市長、堀内さんにご協力をお願いし、また仕事で関わっていた観光協会や旅館組合、黒部まちづくり協議会、商工会議所、黒部ライオンズクラブ等々のご理解を頂き協力を得ることが出来ました。

告知・集客に関しては先の団体絡みはもちろんの事、地元紙やケーブルテレビにも応援をお願いしました。あとザルツブルクとの結びつきを表すため、大使館にも上田さんに話しをしていただき参加をみる事が出来たのは大きかったと思います。

色々大変ではありましたが、鮫澤さんを中心とするコラーレ、セレネのスタッフやボランティアの方々による手作りでのスタートが良かったと思います。これからも益々の発展を応援しています。

元 宇奈月ニューオータニホテル社長
平井治彦



ラクリモサをもっと

宇奈月モーツァルト音楽祭10周年おめでとうございます。横島勝人先生をはじめ実行委員会の皆様、そして宇奈月温泉街の皆様のご尽力によって、私たちはとても気持ちよくモーツァルトを演奏しモーツァルトを聴く幸せを享受することができます。例年最終日には横島先生のタクトでレクイエム(モツレク)が演奏されます。私は合唱団の指導を務めさせていただいておりますが、恥ずかしながらこれまでの人生でこれほどまでにモツレクを学ぶことはありませんでした。横島先生から発せられるモーツァルトへの愛情あふれる豊かな言葉、その情熱に触れる度に何やら明るい未来が近づいてくる気がしてならないのです。モーツァルトはレクイエム作曲中、志半ばで病魔に倒れます。でもたった8小節ですが唯一無二の「ラクリモサ」も残してくれました。ラクリモサは「涙の日」と訳され、引きずるようなヴァイオリンの奏でるリズム、切なく透き通った合唱、天国への階段を半歩ずつ進むかのようなゾクゾクするほどの美しい楽曲です。

合唱練習が始まる毎月6月に思うのです。「今年こそラクリモサをもっともっと練習するぞー！」と。でもこれはたぶん当たり前のことではないのですね。毎年ラクリモサを歌える場所が、毎年モツレクを歌える場所がほかにあるでしょうか。合唱団の皆さん！顔をあげましょう！私たちはこの約束された場所で横島先生の指し示して下さる先にある永遠の光(Lux aeterna)を探さなくてはならないのです。きっとモーツァルトもそれを見えていますよ。セレネの天井裏でふわふわとね・・・

宇奈月アマデウス祝祭合唱団・合唱指導
三井 香



モーツァルトに逢う

「軽さが沈み重さが浮く」と言われるモーツァルトの音楽。軽快な彼の音楽の中にも、聞こえてくる心の影。僕が初めて本格的にモーツァルトの音楽に触れたのは、忘れもしない中学1年生、ピアノソナタをレッスンでもらった時だった。僕は高校3年生まではピアノ伴奏者になろうと思っていたちょっと変わりもののオペラ歌手だ。譜面上ではそんなに難しい曲のように見えないが、いざピアノに向かい弾いてみると、なんとも難しい。しかし何故か自然と夢中になれる。当時のピアノの先生からは、テクニックはもう少しつけないといけませんが「君がモーツァルトを弾く時のその歌心は、自分には真似が出来ない」と、今思えば最高の賛辞を頂いていたのだなあと、ちょっとこそばゆい。

それから色々あって声楽家の道に進み、留学先もモーツァルトの街ザルツブルグになった。モーツァルト音楽院でクノール教授に師事し、ヨーロッパ・オペラデビューもモーツァルト作曲の歌劇「後宮からの逃走」の主演ベルモンテ。今思い返せば、色々な節目でモーツァルトとのご縁があったなあと、ノスタルジーにも似た思いがこみ上げてくる。

今年の記念すべき第10回宇奈月モーツァルト音楽祭では、宇奈月カルテットのメンバーとリサイタルをさせて頂く光栄な機会を頂戴した。どうやら第3回にも出ていたらしく、今回のプログラムにも、その時に歌った歌劇「イドメネオ」のアリアも入れた。ザルツブルグに住んでいた当時、一時帰国の折に宇奈月を訪れた際に、本当に宇奈月の山々と街の関係がザルツブルグに似ていたので、「宇奈月とザルツブルグが似ている」と僕が一番最初に話したのではないかと自負している(笑)。

音楽祭を10年間続けるということは本当に大変なことだったろうと思う。しかし音楽祭に参加した人は、それを支え続けて来た人の熱意を肌でヒシヒシと感じるはずだ。そしてその熱意に心からの敬意と感謝を表したい。モーツァルトの何がそこまで人を惹きつけるのかは、筆舌には言い難いが、我が故郷富山県にモーツァルト音楽祭があるという事を本当に誇りに思っている。これからまた新たな歴史を刻んで行くであろう宇奈月モーツァルト音楽祭。微力ながらもこの先も何かお手伝い出来ることがあれば、是非お声をお掛け頂ければと思っています。



オペラ歌手 澤武紀行

10周年記念誌に寄せて

10周年おめでとうございます。毎秋、宇奈月を訪れるようになって早くも5年の月日が経ちました。人情味溢れる皆様に支えられてきたこの音楽祭と共に、私ども宇奈月カルテットの参加も2020年で6回目を数え、全部で6曲あるモーツァルトの弦楽四重奏曲集「ハイドンセット」を毎年1曲ずつ弾いていくという、一つの目標が今年で達成できることとなります。

「モーツァルトを弾く」というこの音楽祭のルールのもと、クラシック奏者に留まらないあらゆるジャンルの音楽愛好家たちが集まる9月の週末。刺激の強い音楽に慣れ親しんだ現代でどう演奏したら、どう曲を並べたらお客さんに楽しんでもらえるか。毎年ここへ来るために、彼の楽譜を探し、彼について考える時間の何と貴重なことでしょうか。

これだけならば本当によいのですが、一方で聴く楽しみもなければ成り立たないのが一番の悩みどころ。温泉を目当てにふらっと訪れたモーツァルト好きも、ホテルのロビーから聴こえてくるモーツァルトににやりとする、そんな音楽祭にもしたい。その為には演奏の出来のよさも必要となるでしょう。

純度の高いモーツァルトの音楽は本当に弾くのが難しい。恐れ多くも地元の名前を頂いた私たちにはその課題が課せられていると考えて、今年もこの大作曲家の大きな壁に挑んでいきたいと思います。

ヴァイオリン奏者(宇奈月カルテット) 粟津 惇



音楽祭をきっかけに

この度は、宇奈月モーツァルト音楽祭10周年、誠にありがとうございます。

私が初めてこの音楽祭に出演させていただいたのは大学1回生の時でした。あれから10年も経ったのだなと、時の流れを非常に早く感じています。

私は京都市立芸術大学、同大学院を経て、現在モーツァルトの聖地であるザルツブルクのモーツァルテウム大学ピアノリスト課程にて研鑽を積んでいますが、宇奈月モーツァルト音楽祭への出演がザルツブルクへの留学のきっかけになりました。

指揮者の横島勝人先生が仰った「宇奈月にはモーツァルトが似合う！」のお言葉通り、山や川に囲まれた宇奈月は、モーツァルトの誕生地、オーストリアの古都ザルツブルクに似ています。その地でここまで大きな音楽祭に発展したのは、皆様の一から手作りでご尽力された賜物だと思います。自然豊かな環境下にある立派なホールやカフェ、宇奈月モーツァルト音楽祭では沢山の出会いもあり、貴重な経験をさせていただきました。大学2回生の時には横島先生と宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団とピアノ協奏曲第23番を共演させていただいたのを今でも鮮明に覚えております。他にもピアノリサイタルシリーズや室内楽シリーズに出演しましたが、モーツァルトの世界にどっぷり浸ることができるのはこの音楽祭ならではの魅力だと思います。

今後ザルツブルクでもモーツァルトの作品の研鑽に励み、宇奈月で演奏を届けられるように精進してまいります。

今後も音楽祭のますますのご清栄、ご発展をお祈り申し上げます。

ピアニスト(モーツァルテウム大学留学中) 塚田尚吾



10周年に寄せて

宇奈月モーツァルト音楽祭10周年おめでとうございます。当初は数年で終わるものばかり思っておりましたが、10年も続いているということは本当にすごいことだと、改めてお祝い申し上げます。

10年の間にはいろいろなお苦勞がおありだったと思いますが、最も大変だったのは、私が発案した初期の「祝祭オーケストラ」だったのではないかと思います。若くて有望な演奏家が一堂に集い、かつて学生だったメンバーも、その後は海外に留学して夢を叶えたり、プロのオーケストラに入団したりしています。その方々が今でも宇奈月での「祝祭オーケストラ」のことを嬉しそうに懐かしく口にしています。

お世話してくださった宇奈月の皆様、本当に有難うございました。次の10年も大いに期待しておりますので、今後一層の発展をお祈り申し上げます。



ヴィオラ奏者 内山隆達



モーツァルトの愛に溢れた音楽祭

宇奈月モーツァルト音楽祭10周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。私共夫婦と音楽祭の出会い、地方紙に掲載された音楽祭の記事の切り抜きを、私共が大のモーツァルト好きと知っていた友人が送ってくれたのがきっかけでした。その記事を見て、すぐさま是非体験してみたい、行ってみたいと心躍らせてその翌年の第3回目となる2012年に初参加し、その素晴らしさに魅了され毎年お邪魔することとなり、今では何より楽しみな年中行事となりました。

雄大な黒部の山々と黒部川の麓にたたずむ宇奈月温泉の風景が、モーツァルトの生誕地ザルツブルクに似ていると有志が集まって始めた音楽祭だそうで、黒部川がザルツブルクを流れるザルツハ川、山々がアルプス、音楽祭のメイン会場となる宇奈月国際会館セレネホールは、丁度ザルツブルクの北東の高台に位置するホーエンザルツブルク城をイメージさせる場所に建っていて、このホールの背後がすぐ岩山になっていることから、夏のザルツブルク音楽祭のメインホールの祝祭大劇場を彷彿とさせ、ここは間違いなく日本のザルツブルクなのです。

期間中、お天気に恵まれた日には「モーツァルトのご加護」となり、7周年の時のように雨に見舞われれば「よく7回も続けてきたねというモーツァルトさんの涙雨に違いない」となるのです。モーツァルトの愛に溢れた、ボランティアの皆様が一つになった素晴らしい音楽祭です。

地元のボランティアの人々の熱い思いから始まったこの音楽祭は、モーツァルトの音楽が年齢、性別を問わず、どんな人にも愛され続け、いろんな形で楽しまれ続けていることを発信する、本当に貴重な音楽祭だと感じます。そして出演者と聴衆、それを支えている地元の方々との温かな交流を生んでいるのです。日本広しといえどもどこを探してもこのような音楽祭は他にはなく、素晴らしいことと感じます。

毎年音楽祭が終わり、皆様と別れを告げて帰路につく時、決まって来年が待ち遠しくなり早くまた宇奈月に行きたいと思わせる音楽祭、私共の人生をより豊かな楽しいものにしてれています。

11年目となる今年、新たな出発の年として更に私たちに幸せをもたらす音楽祭として発展されますことをお祈りいたします。

またお伺いする日が楽しみでなりません。

日本モーツァルト協会
高橋貞次・喜美子



「ザルツブルク」高橋貞次 画

音楽祭にあわせて、地元の商店が工夫をこらし、オーストリアやモーツァルト、音楽祭キャラクターなどにちなんだオリジナルの商品を提供するのが「おいしいモーツァルト」です。その一部をご紹介します。



実行委員会でも、モーツァルトの音楽をきかせた粉でうった「モーツァルトうどん」を販売しました（大好評でした）



松島一郎さんが栽培している「モーツァルト米」とザルツブルクの塩を使ってつくったおむすび（トーク会場でふるまいました）



オーストリアの貴腐ワインを使った贅沢な「フィガロの結婚まん柔」夫婦円満のお菓子です（酒井菓子舗）



ザルツブルク名物のカレー風味ホットドッグ「ボスナ」（カフェ・セレネ）



音楽祭キャラクター「アマデウナツキン」の焼き印がはいったせんべい（つぼや）



ザルツブルクの石畳をイメージして



福多屋菓子舗



宇奈月地ビールのモーツァルトビールは御存知ですね 銀盤さんも日本酒を試作してくれました



カフェ・ボンフィーノ



全国から、モーツァルトの音楽をきかせた食品を取り寄せてみました バナナ、トマトジュース、日本酒などいろいろな種類があっぴゅり

夢のひとつとき

モーツァルトと宇奈月を愛する人々が力を合わせて創り上げる手弁当のイベントが、これほど長く続けられることに感激しています。私はNHK富山放送局に赴任中、3年目から3年間、関わらせて頂きました。

モーツァルトの人生を紐解きながら、その音楽の魅力の秘密に迫る「プレミアムトーク」。教えてくださったのは指揮者の横島勝人さんです。1年目はザルツブルクの幼少期、2年目は数々のオペラや交響曲を書いた円熟期、そして3年目は「魔笛」から「レクイエム」までの最晩年を紐解きました。

天才の名を欲しいままにした作曲家は、驚くほど様々な経験を重ねていました。人の何倍も学び、旅をし、人と関わり、創作し、悩んで、挫折し、葛藤し、喜び・・・魂を燃やし続け、まさに駆け抜けた人生でした。横島さんからは様々なエピソードとともに、モーツァルトの人柄や音楽への情熱を伺いました。「なぜ、これほど親しみやすく愛される旋律なのか？」という問いに、「叶わぬ幸せに悩み葛藤する中で、音楽に理想の幸せを託した。だから明るい曲調の中に、切なさや悲しみを感じる深みがある」「削ぎ落とされ凝縮された旋律は、考えぬかれた言葉と同じ」・・・と教えて頂きました。そして会場で、その言葉を胸に聴く生演奏に心震わせていました。

それにしても3年がかりのインタビューなんて、そうそうないですよ？横島さんのアイデア、それをやりましょう！ と本当に実現してしまう実行委員会の皆さん。この音楽祭は、まさに皆さんの情熱に支えられた夢の様なひとつときです。どうか、さわやかな秋の宇奈月に、いつまでもモーツァルトの美しい調べが響き渡りますように！

NHKアナウンサー
中條誠子



モーツァルト電車で協力

「宇奈月モーツァルト音楽祭」10周年おめでとうございます。地域の活性化に努力し、今日まで音楽祭の運営に苦勞してこられた実行委員会の皆さんに敬意を表したいと思います。私も、皆さんの情熱に感動し、「くろワン」と「モーツァルト音楽祭」とのかかわりを深め、まちづくりに貢献できると思いイベント協力を申し出ました。

2012年には、地鉄の観光列車「アルプスエクスプレス」を借り上げ、魚津市で行われているイベントと宇奈月温泉で行われている音楽祭をシャトル電車で結びました。二つのイベントの間に活発な人の流れをつくり、新幹線開業に向けての二次交通としての鉄道網の重要性を市民に理解していただき、魚津市や黒部市の皆様に宇奈月へ足を運んでいただいで音楽祭を盛り上げる意味も含めて企画しました。車内での演奏、待ち合わせ時間を利用したの駅ホームでの演奏、電車の到着に合わせて駅前での演奏を繰り広げていただきました。一つのイベントではなく、いくつかのイベントとの連携により、より多くの人に楽しんでいただき、地域イベントの成功事例の一つではなからうかと思っています。

地域の手作りイベントは、企画や準備等の裏方に徹する人、スポンサーの協力、ロコミによるお客さんの動員数に左右されます。いかに継続できるかが課題であり、地元の人がどれだけ協力できるかがカギではないでしょうか？ 毎回少しずつ変化をさせながら、プラス思考でこれからも盛り上げていただきたい地域イベントの一つです。協力できることは、協力させてください。さらなる10年に向けて期待しております。

黒部ワンコインプロジェクト・リーダー
菅野寛二



左 電鉄黒部駅での出発の様子 (2011年)



中上 車内でのサービス
中下 宇奈月温泉駅での出迎えコンサート(歌:中田勝代 ピアノ:間部栄司)



右上・右下 車内での演奏の様子 (2013年)

街を元気にする音楽祭

宇奈月グランドホテルのロビーに、拍手と笑顔が広がった。県内の知的障害者らでつくる音楽サークル「ラブバンド」の演奏が終わった瞬間だ。モーツァルト音楽祭に初参加し演奏ができた喜び、満足感が伝わってきた。

音楽祭にはプロ、アマ問わず、初挑戦のグループもあれば毎年参加している人もいる。高岡市の中学2年生の北山陽彩さんもその一人だ。ヴァイオリンとピアノに取り組んでいる彼女が初めて参加したのは小学4年生の時。樹徳寺でフルートの二上久住職とヴァイオリンで合奏し、小学6年からはキッズコンサートに参加。その彼女も中学生となり、練習してきた曲の演奏を終えると、うれしそうに笑顔で戻ってきたのが印象的だった。彼女の成長を感じるのも音楽祭あればこそかもしれない。

いろんな出会いがあり、出演者も観客も楽しめる音楽祭が10年の歳月を積み重ねた。実行委員会、スタッフの熱意と努力の賜である。

宇奈月温泉の催しに約90年前に始まった夏の花火大会と70年余の歴史のある冬の雪のカーニバルがある。近年は観光イベント化しているが、長く続いたのは地域を元気づける催しだったからだ。モーツァルト音楽祭も、笑顔があふれ街を元気にする祭典として一層発展することを願っている。

宇奈月温泉自治振興会長
河田 稔



上 河田書店の「モーツァルト本」特集コーナー
下 北山陽彩さんの演奏(セレネ・小ホール)

上 地鉄駅前「温泉噴水広場」のにぎわい
下 富山大学フィルハーモニー管弦楽団(黒部峡谷鉄道駅)

祝10周年

宇奈月モーツァルト音楽祭の10周年、誠におめでとうございます！

まずは、この音楽祭の提唱者でもあり音楽監督でもある横島勝人先生をはじめ、実行委員会、スタッフの皆さまに感謝申し上げますとともに、心より敬意を表します。

また、この音楽祭は、地元の温泉街の方々を中心に、地域を挙げて多くのボランティアに支えられていることも大変、素晴らしいことと思います。

私ども富山シティフィルハーモニー管弦楽団では、横島先生とは黒部での第九コンサートの他、我々の定期演奏会でも指揮をしていただいたご縁もあり、音楽祭の第1回目から街かどコンサートやアンサンブル演奏といった形で積極的に参加してまいりました。

途中からは、祝祭管弦楽団のコア団体として、毎年多くの団員も参加させていただいております。特に「レクイエム」の演奏では、宇奈月カルテットのメンバーをはじめ合唱団の皆さまとの交流も深まり、毎回たくさんの刺激を受け、各団員の演奏力向上にもつながっております。

私個人としても、2017年の音楽祭でホルン協奏曲の演奏機会をいただくことができたことは、生涯思い出に残る出来事となりました！

当団では、これからも黒部宇奈月の皆さんとともにこの音楽祭をさらに盛り上げていければと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

音楽祭の今後益々のご発展とご盛会をご祈念申し上げ、メッセージといたします。



富山シティフィルハーモニー管弦楽団
団長 坂井 禎



楽しい音楽祭

宇奈月モーツァルト音楽祭10周年おめでとうございます。

私共「モーツァルト・オーケストラ・セレネ」は、2016年の「ドン・ジョヴァンニ」から、オープニングオペラの演奏を担当しており、2017年「フィガロの結婚」、2018年「魔笛」、2019年「コシ・ファン・トゥッテ」と4曲に参加させていただきました。ちなみに初参加の時から、この4曲をプリントしたTシャツを作り、演奏時に全員がこれを着用しています。

当楽団は「マウントあさま室内合奏団」の有志により構成されています。これは、2000年から毎年秋に長野県上田、佐久、軽井沢等で3日間開催する音楽ワークショップ時に構成される楽団です。

宇奈月での演奏会後は、予定の関係ですぐ東京に戻るメンバーもいれば、延泊して2重奏や4重奏でホテルのロビーでコンサートをしたり、トロッコ列車に乗ったり、付近の観光をしたりとそれぞれ楽しんでいます。私も帰りに「たら汁」を食べて帰京するのが恒例となっております。

これからも永くこの音楽祭が続くことを期待しております。

モーツァルト・オーケストラ・セレネ
事務局 平澤一夫



音楽祭のオペラ

この時期ここ宇奈月に来ると、モーツァルトがあふれているという素敵な催しを、10年もの間続けられてきたことにお祝い申し上げます。多くの方々のご苦勞に加えこの土地を取り巻く環境が大きな力になったのだと思います。モーツァルトの書き上げた楽譜は音になって初めてよみがえります。いろいろな解釈がいろいろな演奏を通して宇奈月の町に溢れる貴重な音楽祭だと思います。そんな巨匠の音楽が聴覚だけではなく視覚にも訴える形となるのがオペラなのです。

そのモーツァルトのオペラが皆さんの前に少しずつ形を変えて、セレネに登場して5年目となります。芸術監督の横島先生のご提案で、モーツァルトの4つの代表的なオペラを少しずつ知っていただき、その魅力を楽しんでほしいという趣旨のもと、2サイクル目に入りました。その流れの中で、私共は第3回目の「魔笛」から、この空間でどのような形にしていくかという、舞台や演出などの協力に参加させて頂きました。もちろんオペラの公演にはそれに適した装置のある舞台や、多くの人材、時間と費用が必要となります。しかし16世紀のシェイクスピアが、照明もないシンプルな舞台で多くの人に愛された事や、18世紀モーツァルトが台本作家ダ・ポンテとのやりとりの中で、いかに観客を楽しませるかと苦勞していたという事実を考え、セレネならではの多くの可能性を生かせればと思っています。

モーツァルトの「ドン・ジョヴァンニ」の公演当初、ドン・ジョヴァンニが若いカップルの花嫁を誘惑するという二重唱「共に手をとれ」の旋律があまりに美しく魅力的で、さらに覚えやすかった事もあり、公演後、音楽に酔いしれた何人もの観客が歌いながら帰ったという話を読んだことがあります。この恵まれた宇奈月の環境の中で、モーツァルトの作り上げた多くの感動との出会いが、日常への刺激と栄養になるはずです。この空間を入り口としてさらに多くの音楽の世界を楽しんでほしいですね。

音楽祭オープニングオペラ演出
トムスタジオ 加藤 徹



歌劇「魔笛」(セレネ・大ホール) 2018年



歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」(セレネ・大ホール) 2019年

地元音楽家の「宇奈月モーツァルト物語」

私が音楽祭に参加をさせて頂いてから5年が経ちました。オープニング演目でもあるモーツァルト4大オペラを総括させて頂き、県内の声楽家がオペラを通して宇奈月で演奏出来ることを毎年楽しみにしております。初回のオペラ『ドン・ジョヴァンニ』は演奏会スタイルで行い、有名どころのアリア・重唱を演奏しました。

そして、『フィガロの結婚』を翌年公演、さらに『魔笛』に関しては全曲目台詞付きで行いました。そして去年、『コシ・ファン・トゥッテ』を上演し、今年は『ドン・ジョヴァンニ』に再び挑みます。4年前より演奏面でも演出面でも楽しんで頂けると思います。

また、個人的ではありますが、音楽祭最後に公演される『レクイエム』も毎年ソリストとして歌わせて頂き、大変嬉しく思っております。その中で、毎年、合唱団のレベルが上がっている事を感じ、ここまで歌えるのは“日々の練習の積み重ねであること”と毎年感動しております。今年も、きっと素晴らしい合唱を聴けると今から楽しみにしております。

私たち演奏家がこのようにステージで歌えることは、聴きにきてくださったお客様、そして、関わってくださった運営関係者・スタッフの皆さんのおかげです。

これからも私たちは宇奈月の自然の中、暖かく応援して下さる方々に喜んでもらえるような演奏をしていきたいと思っております。宇奈月という素晴らしい街へ、全国から足を運んでいただけよう、音楽を通して共に盛り上げていきたいと考えています。

音楽祭オペラプロデュース
バリトン 門田 宇



トンネルの向こうは不思議の町でした

湯けむりが包むクラシックフェスティバル。事実は小説よりも奇なり。10周年、慶賀の至りです。しかし真に敬すべきは「第11回」でしょう。手作りで刻んできたこの年輪は、きっと苦楽にまみれた数字だとお察しします。義務ではないものを続けてきた熱血の数字は、たったひとつ進むだけで感動を覚えます。狂熱と感動がある限り、湯の香りとモーツァルトの音色は強く結ばれることでしょう。

テノール 近藤洋平



挑戦と成長



音楽祭が始まった年、宇奈月町で働いていた縁で出演を決めました。それから10年、毎年恒例の大事な演奏の場となっています。初めて出演した時はレパートリーも少なく、街中に響くモーツァルトの音楽にプレッシャーばかり感じていました。しかし、オペラ公演に出演するようになってからは、毎年挑戦の連続ですが、やりがいと充実感を味わうことのできる場所へと変わっていきました。横島先生を始めとする実行委員の方たちの温かさに支えられ、今では自分を成長させてくれる唯一無二の音楽祭です。

ソプラノ 加藤 恵

新たな気持ちになる場所

魚津出身の私にとって子供の頃の宇奈月は、トロッコ列車や温泉に連れて行って貰える特別な場所でした。成長した今、県内外からモーツァルトの音楽に触れようと大勢の方が集まり活気づくこの街の中の一員になれるこの日が、年に一度の楽しみであり、宇奈月は音楽に対し新たな気持ちになる場所になりました。沢山のご苦勞がありながら、こうして音楽祭を続けて下さった実行委員会、関係各位の皆様にご心からの敬意を表します。これから更なる音楽祭のご発展をお祈り申し上げます。

ソプラノ 安田裕美



第二の故郷 宇奈月

宇奈月モーツァルト音楽祭は、昨年10周年迎えられました。本当におめでとうございます。私は2016年からこちらの音楽祭に参加させていただいております。宇奈月へ歌いに行くことが毎年の定例行事となり、まるで実家に帰省するような感覚であります。

2016年8月、私は初めて宇奈月を訪れました。その日は晴天で、山々がとても美しく、力強かったと記憶しています。練習が終わり、時間があったのでスタッフの方と温泉街を少し散策しました。その際にこの音楽祭がオーストリアのザルツブルク音楽祭をイメージして開催しているというお話を聞き、その取り組みや熱意に胸を打たれました。素敵なカフェで、素敵なお話を聞き、豊かな自然を見て癒され、温かい気持ちで東京に戻りました。

さて、様々な地域で音楽祭が行われていますが、宇奈月の音楽祭は何か一味違って見えます。それは他にはない「憧れ」が、この音楽祭にはたくさん詰まっているからです。あのザルツブルク音楽祭を目指そうという「憧れ」が、他にはない魅力なのではないかと私は思います。

期間中、実行委員の方だけでなく、街全体がこの音楽祭を盛り上げ、音に溢れる数日間を多くの方が楽しんでいきます。その様子はとても活気があり、参加している方々、音楽を聴いている方々の表情はキラキラと輝いています。このように街全体が輝く音楽祭は、そう多くはありません。私はこの光景がとても好きで、毎年楽しみにしております。

この音楽祭は宇奈月の豊かな自然と、そこに集まる人々と、そこで奏でられる音楽によって唯一無二の音楽祭になりました。ここに至るまで、実行委員の皆様のご尽力、また横島先生はじめ音楽スタッフのお力添えがあったかと存じます。出演者として御礼申し上げます。

これからも末永くこの音楽祭が続く事をお祈り申し上げます。

メゾソプラノ 成田伊美



音楽祭スペシャルコンサート
宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団・合唱団による「レクイエム」
(セレネ・大ホール) 2018年



モーツァルトの音楽

モーツァルトのヴァイオリン協奏曲第5番を初めて勉強したのは、高校2年生の時、実技試験の課題曲としてでした。東京の音楽高校に行き寮生活をしていた私は、「モーツァルトを聴けば、その人の技量が全てわかる」という師匠の言葉に怯え、周りの部屋から聴こえてくる同級生の素晴らしい演奏に圧倒されながら、必死に練習したことを覚えています。

このように、私にとって恐ろしい存在であったモーツァルトでしたが、この音楽祭に何度も参加し、数々の楽曲に触れるうちに、気まぐれで生き生きとした作風に深い魅力を感じるようになりました。第9回のコンサートで、昔勉強した協奏曲第5番のソロを弾かせていただけたことは、とても幸せで、夢のようなひとときでした。



宇奈月モーツァルト音楽祭が未長く続き、これからも多くの方々にとって、モーツァルトの楽曲との素晴らしい出会いの場になりますよう、心よりお祈りしております。

ヴァイオリン奏者 渋谷優花

10周年記念誌に寄せて



宇奈月モーツァルト音楽祭では、毎年オーケストラの一員として、また弦楽四重奏で、セレネのホールやホテルのロビーにて演奏させて頂いています。温泉街にモーツァルトの音楽だけが流れるなんて、本当に素敵です。

企画の段階から、いろいろな御苦労があると思いますが、各会場で、スタッフさんが準備をテキパキと行っているのが、印象的です。そして、毎年、少しずつ、良い音楽祭に成長してきたと思います。10年経ってようやく、県外の方にも認知されてきた感じがあり、やはり無理のない形で、続けていく事が、大事だと思う次第です。今後よろしくお願いいたします。

ヴァイオリン奏者 宮本範子

♪ フルート協奏曲 ニ長調 K.314より 第2楽章
 ♪ フルートのためのアンダンテ ハ長調 K.315

二本松 守 (フルート) 二本松洋子 (ピアノ)

♪ ピアノ、クラリネットとヴィオラ(クラリネット)のための三重奏曲
 変ホ長調 K.498 (ケーゲルシュタット・トリオ)

アンサンブルTIH

田中圭子 (ピアノ) 濱藤浩人 (クラリネット) 五十嵐佳美 (クラリネット)



♪ 弦楽四重奏曲第17番 変ロ長調 K.458 「狩」より 第1楽章

富山大学フィルハーモニー管弦楽団

小林享志 (1stヴァイオリン) 小久保昌彦 (2ndヴァイオリン)
 前川仁志 (ヴィオラ) 九内平徳 (チェロ)

♪ 歌劇「魔笛」 K.620より 4つのアリア

♪ テーマ フロム コンチェルト No.21 K.467 (ピアノコンチェルトより 第2楽章のテーマ)

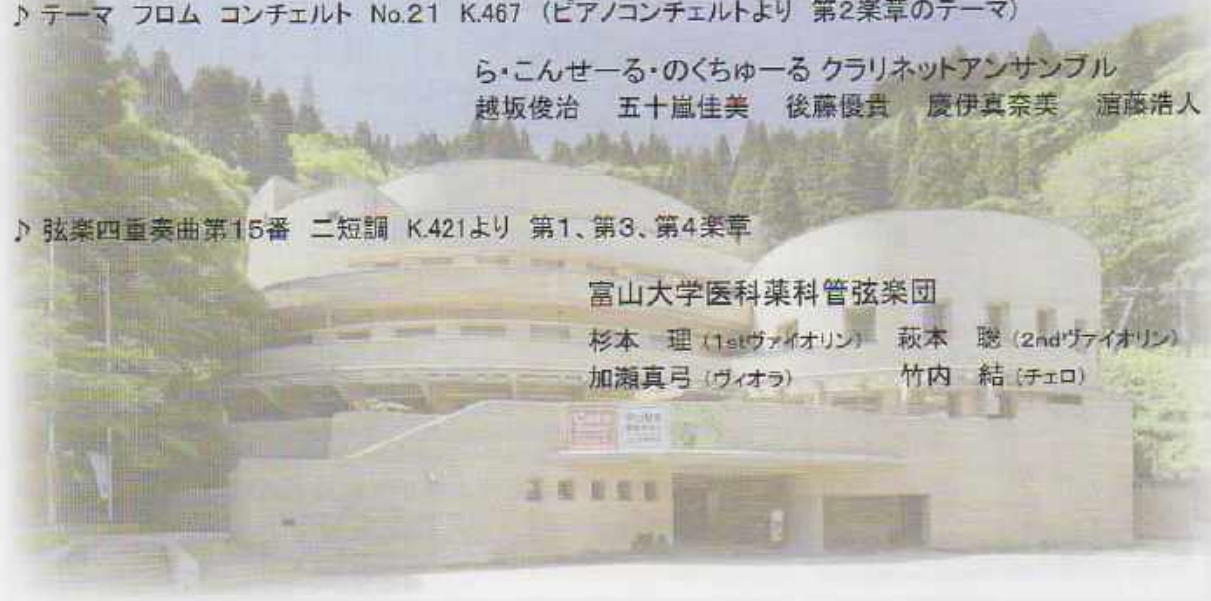
ら・こんせーる・のくちゅーる クラリネットアンサンブル

越坂俊治 五十嵐佳美 後藤優貴 慶伊真奈美 濱藤浩人

♪ 弦楽四重奏曲第15番 ニ短調 K.421より 第1、第3、第4楽章

富山大学医科薬科管弦楽団

杉本 理 (1stヴァイオリン) 萩本 聡 (2ndヴァイオリン)
 加瀬真弓 (ヴィオラ) 竹内 結 (チェロ)



♪ ピアノソナタ第15番 ハ長調 K.545

♪ 幻想曲 二短調 K.397

♪ 歌劇「フィガロの結婚」より スザンナのアリア 『早くおいで、美しい喜びよ』

岡島聡子 (ピアノ)

♪ 歌劇「フィガロの結婚」より 手紙の二重唱

呉羽高校 音楽コース

♪ 歌劇「魔笛」 序曲

黒澤里紗 (ソプラノ) 高橋美咲 (メゾソプラノ)

川井著子 (ピアノ) 上坂愛美 (ピアノ)

♪ セレナード第12番 ハ短調 K.388

富山シティフィルハーモニー管弦楽団

北岡 明 保科浩一 (オーボエ) 佐々木桂治 横井省二 (クラリネット)

川添 等 坂井 禎 (ホルン) 永原秀樹 篠崎秀一 (ファゴット)

♪ クラリネット五重奏曲 イ長調 K.581

とやま桐クインテット

向井麻子 (クラリネット) 渋谷優花 (1stヴァイオリン) 小澤真琴 (2ndヴァイオリン)

守護菊野 (ヴィオラ) 上原玲未 (チェロ)

♪ セレナード第13番 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」ト長調 K.525

富山シティフィルハーモニー管弦楽団

高橋久美子 田中 緑 増田美香 又場龍大 渡辺優子 (1stヴァイオリン)

阿閉博美 末永祐士 辻 久直 仲井美賀 (2ndヴァイオリン)

小椋美佳 高田亮二 松島真二郎 (ヴィオラ)

朴谷 修 堀田五月 (チェロ)

♪ 交響曲第40番 ト短調 K.550

富山シティフィルハーモニー管弦楽団

土井 浩 (指揮)

宮本範子 高橋久美子 田中 緑 増田美香 又場龍大 松下夕エ 渡辺優子 (1stヴァイオリン)

阿閉博美 末永祐士 辻 久直 仲井美賀 松下 亮 吉澤真弓 (2ndヴァイオリン)

小椋美佳 高田亮二 松島真二郎 (ヴィオラ)

朴谷 修 堀田五月 (チェロ) 荒木亜寿美 (コントラバス) 石田孝弘 (フルート)

北岡 明 保科浩一 (オーボエ) 佐々木桂樹 大田昌子 (クラリネット)

川添 等 坂井 禎 (ホルン) 永原秀樹 篠崎秀一 (ファゴット)

♪ クラリネット協奏曲 イ長調 K.622

内山隆達 & 弦楽四重奏

内山隆達 (ヴィオラ) 梅澤理佳 (ヴァイオリン) 村上真理菜 (ヴァイオリン)

中田益子 (ヴィオラ) 富田 祥 (チェロ)

音楽祭アルバム
2010年

第1回音楽祭 2010年9月19日(日)～9月21日(火)
出演者数 264名(35組) 総観客数 3,105名 演奏会場 16箇所



クラフルズの演奏(温泉噴水広場)



又場龍大(カフェ・モーツァルト)



加藤 恵・相川知範(セレネ・ロビー)



富山シティフィルハーモニー管弦楽団(いっぶく処)



ドレミガールズの演奏(足湯おもかげ)



ドルチェ・リンカーによるハンドベルの演奏
(黒部川電気記念館)



TOYAMAグラン・ソレイユ(ホテル黒部)



黒部マンドリンアンサンブル(セレネ・ギャラリー)



トークセッション「おいしいモーツァルト・癒しのモーツァルト ～コメとビールと温泉と～」
武藤憲夫(ピアニスト・富山短期大学教授)、松島一郎(モーツァルト米栽培農家)、
大橋聡司(宇奈月麦酒館社長)、新井裕一(黒部市民病院神経内科部長)の
4名が、モーツァルトの音楽がもつ効果などについて語りあった(いっぷく処)



コーラル・キーボードオーケストラの演奏
(宇奈月ニューオータニホテル)



夜のロビーコンサート 内山隆達&弦楽四重奏
(延対寺荘)



「レクイエム」の特別公開練習 指導:横島勝人 合唱:黒部で第九を歌う会 (セレネ・大ホール)

モーツァルト@宇奈月フェスティバル室内オーケストラ 公演

♪ ディヴェルティメント 二長調 K.136 「ザルツブルク交響曲」

- 第1楽章 アレグロ 二長調 4分の4拍子 ソナタ形式
- 第2楽章 アンダンテ ト長調 4分の3拍子 ソナタ形式
- 第3楽章 プレスト 二長調 4分の2拍子 ソナタ形式

♪ セレナーデ第7番 二長調 K.250 《ハフナーセレナーデ》より三つの楽章
(ヴァイオリン協奏曲部分)

- 第2楽章 アンダンテ ト長調 4分の3拍子 協奏風ソナタ形式
- 第3楽章 メヌエット ト短調 4分の3拍子
- 第4楽章 ロンド アレグロ ト長調 4分の2拍子 ロンド形式

ヴァイオリン独奏 泉原隆志

休憩

♪ ディヴェルティメント第17番 二長調 K.334より

- 第3楽章 メヌエット 二長調 4分の3拍子

♪ セレナーデ第13番 ト長調 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」 K.525

- 第1楽章 アレグロ ト長調 4分の4拍子 ソナタ形式
- 第2楽章 ロマンツェ アンダンテ ハ長調 2分の2拍子 三部形式
- 第3楽章 メヌエット アレグレット ト長調 4分の3拍子
- 第4楽章 ロンド アレグロ ト長調 4分の4拍子 ロンド形式

モーツァルト@宇奈月フェスティバル室内オーケストラ ※=首席奏者

リーダー ※ 泉原隆志

第1ヴァイオリン	別本裕子	村上真理菜	洪谷優花	嶋 志保子
第2ヴァイオリン	※ 井上静香	富川詩子	夏目美絵	鳥生真理絵
ヴィオラ	※ 内山隆達	萩谷金太郎	松村宏樹	
チェロ	※ 朝吹 元	上原玲未		
コントラバス	倉持 敦			
フルート	今本晶子	鈴木あい		
ファゴット	宮崎寿理	星野美香		
ホルン	佐久間 優	山下恵莉		

<第一部>

♪ フルート四重奏曲第1番 K.285

富山大学フィルハーモニー管弦楽団

野口 晶 (フルート) 小林享志 (ヴァイオリン)
宮崎 菜 (ヴィオラ) 望月 充 (チェロ)

♪ ピアノソナタ第7番 K.309

天池千鶴子 (ピアノ)

♪ アダージョとフーガ ハ短調 K.546

富山シティフィルハーモニー管弦楽団

辻 久直 田中 縁 阿閉博美 (1stヴァイオリン)
末永祐士 仲井美賀 又場龍大 (2ndヴァイオリン)
増田美香 前川仁志 高橋淑恵 (ヴィオラ)
朴谷 修 堀田五月 (チェロ)

♪ ディヴェルティメント第8番 K.213

♪ オペラ「魔笛」より おいらは鳥刺し 僧侶の行進 何と素晴らしい音だ 恋人か女房か

♪ アヴェ・ヴェルム・コルプス

♪ アイネ・クライネ・ナハトムジーク

アンサンブルパレット (リコーダー)

大坪史尚 大坪仁子 小杉加寿子
島林 寛 花岡真彦 奥野知子

♪ 弦楽四重奏曲第21番「プロシヤ王一番」K.575より 第1楽章

富山大学医科薬科管弦楽団

村上弘典 (1stヴァイオリン) 杉本 理 (2ndヴァイオリン)
河合徹郎 (ヴィオラ) 大島 薫 (チェロ)

<第二部>

♪ 弦楽四重奏曲第19番 K.465

富山大学フィルハーモニー管弦楽団

小林享志 (1stヴァイオリン) 小久保昌彦 (2ndヴァイオリン)
本多祐樹 (ヴィオラ) 九内平徳 (チェロ)

♪ ピアノと管楽のための五重奏曲 変ホ長調 K.452

アンサンブルFigaro

老月千晶 (ピアノ) 保科浩一 (オーボエ)
池上敦子 (クラリネット) 野崎美保 (ホルン)
今江知子 (ファゴット)

♪ 弦楽四重奏曲第20番 K.499より 第1楽章

富山大学医科薬科管弦楽団

杉本 理 (1stヴァイオリン) 萩本 聡 (2ndヴァイオリン)
加瀬真弓 (ヴィオラ) 村上弘典 (チェロ)

♪ セレナード第11番 変ホ長調 K.375

富山シティフィルハーモニー管弦楽団

北岡佳苗 (1stオーボエ) 小林美穂 (2ndオーボエ)
佐々木桂治 (1stクラリネット) 大田昌子 (2ndクラリネット)
永原千春 (1stファゴット) 篠崎秀一 (2ndファゴット)
川添 等 (1stホルン) 坂井 禎 (2ndホルン)

<第三部>

♪ ピアノトリオ第5番 ハ長調 K.548

アンサンブルHIT

田中圭子 (ピアノ) 五十嵐佳美 (クラリネット)
濱藤浩人 (バスクラリネット)

♪ クラリネット五重奏曲 イ長調 K.581より 第1、第4楽章

富山大学フィルハーモニー管弦楽団

宮崎 菜 (クラリネット) 小林享志 (1stヴァイオリン)
平原真美 (2ndヴァイオリン) 加藤良朋 (ヴィオラ)
倉田 歩 (チェロ)

♪ 弦楽四重奏曲第4番 ハ長調 K.157

♪ 弦楽四重奏曲第6番 変ロ長調 K.159より 第2楽章

Quatour Enfantin

宮本範子 (1stヴァイオリン) 又場龍大 (2ndヴァイオリン)
増田美香 (ヴィオラ) 堀田五月 (チェロ)

♪ 歌劇「フィガロの結婚」より

序曲

フィガロのアリア “もう飛ぶまいぞ、この蝶々”

ケルビーノのアリア “恋とはどんなものかしら”

スザンナと伯爵夫人の二重唱 “手紙の二重唱”

とやまレディースオーケストラ OASIS

♪ アヴェ・ヴェルム・コルプス

小澤真琴 櫻井涼子 名執純子 (1stヴァイオリン)
森脇麻子 原 朝子 鶴谷真夕 (2ndヴァイオリン)
守護菊野 鵜飼千春 (ヴィオラ)
稲見之羽子 館野祥子 館野真梨子 (チェロ)
本間夕姫 (コントラバス)



入善混声合唱団(いっぶく処)



トリオ・フローランの演奏 チェンバロを持参し
仮装も(グリーンホテル喜泉)



雨の中演奏する富山地方鉄道吹奏楽団と傘をさしながら聴く人々
(温泉噴水広場)



コレギウム・ムジクム・ジュニア・アンサンブル
の演奏(黒部峡谷鉄道駅)



「アンサンブル ミルトス」による
美術館コンサート(セレネ美術館)



夜のロビーコンサート
モーツァルト@宇奈月フェスティバル室内オーケストラ
メンバーによる室内楽(宇奈月グランドホテル)



夜のロビーコンサート
富山シティフィルハーモニー管弦楽団
による弦楽四重奏(ホテル桃源)



「K-DRY」によるエレキギターの演奏(左:いっぶく処 上:フィール宇奈月)



「ホセンゼルス」のステージ(セレネ・小ホール)



とやまレディースオーケストラ OASIS(いっぶく処)



おそらく音楽祭で最年少の参加者でしょう
「ベビ☆ママコーラス」の皆さん(セレネ・小ホール)



黒部混声合唱会(宇奈月ニューオータニホテル)



音楽祭スペシャルコンサート モーツァルト@宇奈月フェスティバル室内オーケストラ(セレネ・大ホール)

2012年コンサートガイド

宇奈月にはモーツァルトが似合う！
指揮者 飯高勝人

メインコンサート以外の演奏会は、すべて無料でお楽しみいただけます。
観客により、演奏会場や時間に変更が生じる場合があります。



♪ 湯の街ふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月 ♪ コンサートガイド

宇奈月温泉

宇奈月温泉ホテル
セルリアンホール

9月22日(土)PM 18:00開演

10:00	響の華	吹奏楽部
10:00	セルリアンホール	久津敏江
10:00	いっさく組	トリルずらん
10:30	いっさく組	二本松 守・淳子・由出朋介
11:00	宇奈月 国楽ホール	富山市化二ステーン
11:20	温泉噴水広場	富山地方放送交響楽団
11:30	いっさく組	久津敏江
12:00	宇奈月 温泉	セルリアンホール
12:30	セルリアンホール	二本松 守・淳子・由出朋介
12:30	セルリアンホール	吹奏楽部

前夜祭 9月21日(金)

17:30	温泉噴水広場	セルリアンホール
18:00	いっさく組	セルリアンホール
20:00	宇奈月 国楽ホール	セルリアンホール

《室内楽コンサート》 9月22日(土)
14:30~16:30

◆第一部◆ 12:30~14:30

- 山口尚佳
- カンターレ
- アンサンブル4人
- 富山大学アルマーニー管弦楽団
- 富山大学管弦楽団

◆第二部◆ 14:30~16:30

- 富山大学アルマーニー管弦楽団
- Quatuor Erifonin
- 室田尚志
- 演奏実行

富山大学管弦楽団交歓 茶会
9月23日(日)10:30~13:00

主催: 富山大学管弦楽団
協力: 宇奈月セルリアンホール

9月22日(土)PM 18:00開演	13:00	宇奈月セルリアンホール	響の華
	13:00	セルリアンホール	久津敏江
	13:00	セルリアンホール	トリルずらん
	13:30	セルリアンホール	二本松 守・淳子・由出朋介
	13:40	温泉噴水広場	富山地方放送交響楽団
	14:00	セルリアンホール	Audite Group
	14:00	見通すもかけ	野の花
	14:00	北越銀行ビル	Flouride
	14:00	クラシカルホール	和時の会
	14:30	クラシカルホール	高山市化二ステーン
	14:30	いっさく組	山口尚佳
	14:30	セルリアンホール	Kan&Sano
	15:00	セルリアンホール	響の華
	15:30	いっさく組	和出朋介・由出朋子
	15:30	セルリアンホール	響の華
	15:30	セルリアンホール	久津敏江
	16:00	セルリアンホール	響の華
	16:20	温泉噴水広場	富山地方放送交響楽団
	16:30	ランダムハウス	響の華
	17:00	響の華	二上 久
	17:00	いっさく組	Kan&Sano
	17:00	宇奈月 温泉	K&S
	17:30	宇奈月 モーツァルト	又巻雅夫
	20:00	宇奈月 温泉	響の華
	20:00	宇奈月 温泉	宇奈月 国楽ホール
	20:45	宇奈月 温泉	宇奈月 国楽ホール

9月23日(日) 18:00開演	10:00	朝霧寺 国楽ホール	響の華
	10:00	セルリアンホール	鳥部聖合管弦
	10:00	セルリアンホール	Duo音の芽
	10:30	セルリアンホール	後園かぐり
	10:30	いっさく組	響
	10:30	鳥部聖合管弦	Clair
	11:00	セルリアンホール	富山大学管弦楽団
	11:25	温泉噴水広場	アンサンブル化二ステーン
	11:30	セルリアンホール	入善達声合管
	11:30	いっさく組	Duo音の芽
	12:00	セルリアンホール	松田梨子もむに
	12:00	まちどおし	富山大学管弦楽団
	12:30	セルリアンホール	響の華
	13:00	セルリアンホール	久津敏江
	13:00	クラシカルホール	久津敏江
	13:30	いっさく組	久津敏江
	14:00	ランダムハウス	久津敏江
	14:00	セルリアンホール	久津敏江
	16:30	セルリアンホール	VVA
	17:00	セルリアンホール	ソプラノコンサート
	17:00	いっさく組	久津敏江
	20:00	宇奈月 温泉	久津敏江
	20:00	宇奈月 温泉	久津敏江
	20:45	宇奈月 温泉	久津敏江
	20:45	宇奈月 温泉	久津敏江

モーツァルト@宇奈月フェスティバル室内オーケストラ 公演

♪ ディヴェルティメント ヘ長調 K.138 「ザルツブルク交響曲第3番」

第1楽章 アレグロ

第2楽章 アンダンテ

第3楽章 プレスト

♪ ヴァイオリン協奏曲第4番 ニ長調 K.218

第1楽章 アレグロ

第2楽章 アンダンテ・カンタービレ

第3楽章 ロンド

ヴァイオリン独奏 岩谷祐之

休憩

♪ 交響曲第40番 ト短調 K.550

第1楽章 モルト・アレグロ

第2楽章 アンダンテ

第3楽章 メヌエット アレグレット

第4楽章 フィナーレ アレグロ・アッサイ

モーツァルト@宇奈月フェスティバル室内オーケストラ

※=首席奏者

指揮 横島勝人

ヴァイオリン独奏 岩谷祐之

コンサートマスター 道橋倫子

第1ヴァイオリン 洪谷優花 嶋 志保子 別本裕子 村上真理菜

第2ヴァイオリン ※ 鳥生真理絵 竹之内 悠 夏目美絵 松山加奈恵

ヴィオラ ※ 内山隆達 萩谷金太郎 福井 萌 松村宏樹

チェロ ※ 朝吹 元 バク・ヒヨナ

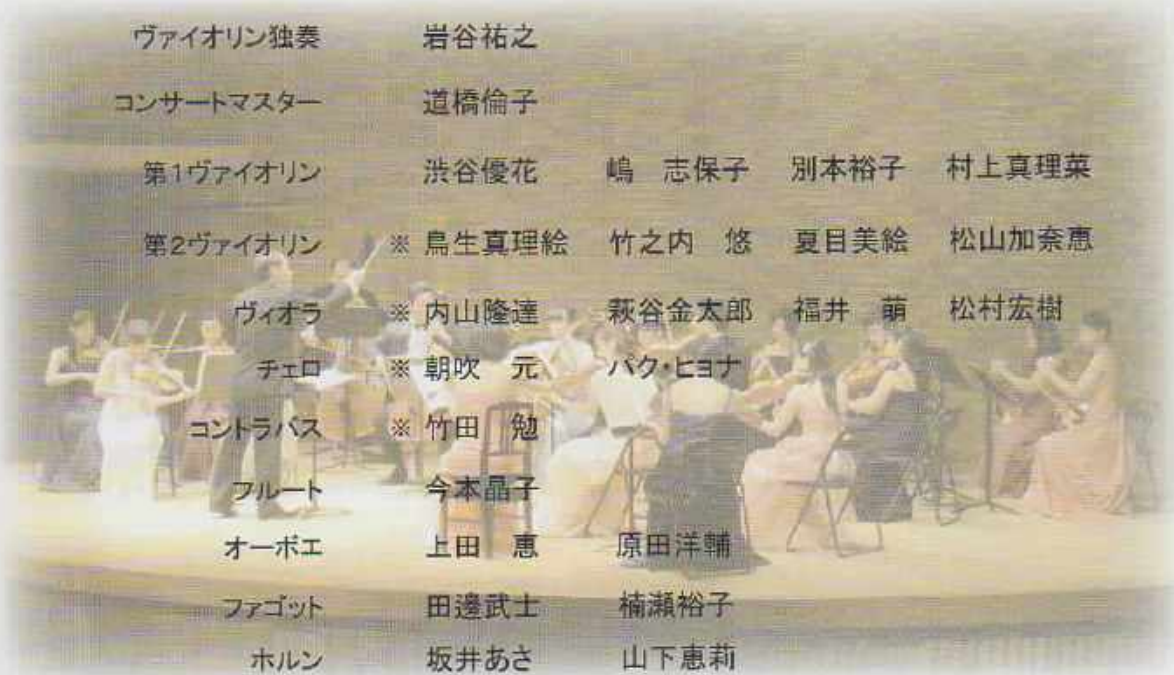
コントラバス ※ 竹田 勉

フルート 今本晶子

オーボエ 上田 恵 原田洋輔

ファゴット 田邊武士 楠瀬裕子

ホルン 坂井あさ 山下恵莉



♪ ピアノソナタ第8番 イ短調 K.310

山口裕佳理 (ピアノ)



♪ Voi che sapete (恋とはどんなものかしら) 歌劇「フィガロの結婚」より

♪ リート《すみれ》 K.476 詩 ゲーテ 訳詞 青島広志

♪ モーツァルトの子守歌 訳詞 堀内敬三

♪ モテット (踊れ、喜べ、幸いな魂よ) K.158 aAlleluia (アレレヤ)

カンターレ (女声コーラス)

三井 香 (指揮)

吉田圭織 (ピアノ伴奏)

杉澤積子	寺島紀子	中島弘美	三井真弓	水島沙奈恵	結城美喜子 (ソプラノ)
川戸る美子	寸和京子	森 律子	曾田奈々子	竹田由美 (メゾソプラノ)	
広川順子	篠崎富美子	松尾球美 (アルト)			

♪ ピアノトリオ第3番 変ロ長調 K.502

アンサンブルHIT

田中圭子 (ピアノ) 五十嵐佳美 (クラリネット) 濱藤浩人 (バスクラリネット)

♪ 弦楽四重奏曲第15番 ニ短調 K.421

富山大学フィルハーモニー管弦楽団

小林享志 (1stヴァイオリン)	宿谷啓太 (2ndヴァイオリン)
吉澤歩希 (ヴィオラ)	丸内平徳 (チェロ)

♪ 交響曲第35番 ニ短調 K.385 「ハフナー」

富山シティフィルハーモニー管弦楽団

土井 浩 (指揮)

宮本範子 (コンサートマスター)

黒田悠莉	辻 久直	仲井美賀	中川洋司	又場龍大	又場美香 (1stヴァイオリン)
阿閉博美	塩崎章子	末永祐士	沼田典子	原 朝子	吉澤真弓 米丘 博 (2ndヴァイオリン)
大森祐子	坂本歩美	篠原美奈子	清水淑恵	中 秀晃	松島真三郎 (ヴィオラ)
朴谷 修	堀田五月	松島健一郎	村岡央基 (チェロ)		
荒木亜寿美	長谷英寿	吉澤克仁 (コントラバス)			竹森恵美 吉澤美和子 (フルード)
北岡佳苗	小林美穂 (オーボエ)				大田昌子 横井省二 (クラリネット)
牛嶋 裕	永原秀樹 (ファゴット)				野崎美保 安川哲二 (ホルン)
上田智之	松住一史 (トランペット)				山口雅美 (ティンパニー)

♪ ディヴェルティメント第8番 ヘ長調 K.213

♪ ディヴェルティメント第12番 変ホ長調 K.252

富山シティフィルハーモニー管弦楽団

保科浩一 北岡 明 (オーボエ) 永原秀樹 永原千春 (ファゴット)
川添 等 坂井 禎 (ホルン)

♪ 弦楽四重奏曲第19番 ハ長調 K.465 「不協和音」

Quatuor Enfantin

宮本範子 (1stヴァイオリン) 又場龍大 (2ndヴァイオリン)
又場美香 (ヴィオラ) 堀田五月 (チェロ)

♪ フランスの歌曲「ああ、お母さん、あなたに申しませう」による12の変奏曲

ハ長調(きらきら星変奏曲) K.265

♪ バイジェットの歌劇「哲学者気取り」の「主に幸あれ」による6つの変奏曲 ヘ長調 K.398

♪ ロンド 二長調 K.485

♪ 幻想曲 二短調 K.397

塚田尚吾 (ピアノ)

♪ 歌劇「後宮からの逃走」より ベルモンテのARIA “ここで、君を見つけるだろう”

♪ 歌劇「イドメネオ」より アルバーチェのレチタティーヴォとARIA

“シドンよ、お前は今、苦難の中にいる～もし、そのような運命ならば”

澤武紀行 (テノール)

竹内佳代 (ピアノ)

♪ ディヴェルティメント K.136 第1楽章

♪ 歌劇「魔笛」より 序曲

♪ 歌劇「魔笛」より 夜の女王のARIA

とやまレディーズオーケストラ OASIS

小澤真琴 新井紗央理 原 朝子 (1stヴァイオリン)

黒澤 桂 沼田典子 島田恭歌 (2ndヴァイオリン)

森脇麻子 又場美香 (ヴィオラ)

稻見之羽子 館野祥子 館野真梨子 (チェロ)

本間夕姫 (コントラバス)



「野の花」によるオカリナの演奏(足湯おもかげ)



富山大学医科薬科管弦楽団(まちこゆる)



「雪の華」の演奏(ランダムハウス)



塚田尚吾の演奏(セレネ・ロビー)



「二本松 守・洋子・西出健介」のステージ(いっぶく処)



夜のロビーコンサート(宇奈月国際ホテル)



横島勝人プレミアムトーク「モーツァルトへの旅」(聞き手:中條誠子) トークの内容に応じて演奏も(セレネ・小ホール)



二本松 守

10年前、新聞で「宇奈月モーツァルト音楽祭！」の記事を読み、町おこしに少しでも役に立ちたいと、毎年参加して来ました。第1回こそ、セレネのホールで演奏しましたが、それ以降は「セレネエントランス」→「いっぷく処」→「ホテルのロビー」とお客様と真近に交流出来る『街かどコンサート』にハマっています。

メンバーも、最初は妻のピアノと私のフルートだけでしたが、回を重ねる毎に愉快的仲間が増えて昨年は10人となり、オペラ「魔法の笛」を林光沢の日本語で歌い、観客の皆さんも一緒に歌って下さって、楽しいステージとなりました。これからも「モーツァルト音楽祭」に参加していきたいです。

黒部マンドリンアンサンブル 宮田淳子



10周年の音楽祭で、北陸新幹線・黒部宇奈月温泉駅の地域観光ギャラリーで演奏した時の事です。演奏を終えて挨拶をした私達に「アンコール」の声が掛かりました。儀礼のアンコールだったのか、定礼のアンコールだったのかは定かではありませんが、駅を利用された旅の方だったのでしょう。アンコールに応じて演奏しました。沢山の方々と、穏やかで、心安らぐ一時を共有できた喜びを感じ、これからも訪れて下さった皆様とのふれあいを大切にして、私達なりのモーツァルトでイベントを盛り上げていきたいと思っています。



濱藤浩人

モーツァルト音楽祭開催10周年おめでとうございます。私はクラリネットを中心に色々形態を変えながら10回参加させて頂きました。初めの数年間は、セレネのホールでも演奏させて頂いた事が懐かしく思います。

モーツァルトの音楽は、弦楽、オケ、コンチェルト、管・弦楽アンサンブル、オペラ、歌曲など多岐のジャンルに渡り、つきる事はありません。今後も色々な曲に挑戦して行きたいと思っておりますので末永く音楽祭が続くことを願っています。

2013年コンサートガイド

9月23日(祝)		9月23日(祝)	
10:00~	せしなホール	10:00~	せしなホール
10:00~	いっさく	10:00~	いっさく
10:30~	温泉噴水広場	10:30~	温泉噴水広場
10:30~	朝庭寺	10:30~	朝庭寺
11:00~	やまびこ館	11:00~	やまびこ館
11:00~	いっさく	11:00~	いっさく
11:30~	せしな2Fキヤナル	11:30~	せしな2Fキヤナル
11:30~	足湯おもて	11:30~	足湯おもて
12:00~	せしなホール	12:00~	せしなホール
12:00~	いっさく	12:00~	いっさく
12:30~	温泉噴水広場	12:30~	温泉噴水広場
13:00~	いっさく	13:00~	いっさく
13:00~	せしな2Fキヤナル	13:00~	せしな2Fキヤナル
13:00~	せしなホール	13:00~	せしなホール
14:30~	グリーンホール	14:30~	グリーンホール
20:00~	中野月夜	20:00~	中野月夜
20:45~	足湯	20:45~	足湯
20:00~	本町黒部	20:00~	本町黒部
20:45~	朝庭寺	20:45~	朝庭寺

9月22日(日)		9月22日(日)	
10:00~	せしなホール	10:00~	せしなホール
10:00~	いっさく	10:00~	いっさく
10:30~	温泉噴水広場	10:30~	温泉噴水広場
10:30~	朝庭寺	10:30~	朝庭寺
11:00~	やまびこ館	11:00~	やまびこ館
11:00~	いっさく	11:00~	いっさく
11:30~	せしな2Fキヤナル	11:30~	せしな2Fキヤナル
12:00~	せしなホール	12:00~	せしなホール
12:00~	いっさく	12:00~	いっさく
12:30~	温泉噴水広場	12:30~	温泉噴水広場
12:30~	やまびこ館	12:30~	やまびこ館
13:00~	せしなホール	13:00~	せしなホール
13:00~	いっさく	13:00~	いっさく
13:30~	せしな2Fキヤナル	13:30~	せしな2Fキヤナル
13:30~	温泉噴水広場	13:30~	温泉噴水広場
14:00~	せしなホール	14:00~	せしなホール
14:00~	いっさく	14:00~	いっさく
14:30~	せしなホール	14:30~	せしなホール
14:30~	いっさく	14:30~	いっさく
15:00~	せしなホール	15:00~	せしなホール
15:00~	いっさく	15:00~	いっさく
15:30~	足湯おもて	15:30~	足湯おもて
16:00~	せしな2Fキヤナル	16:00~	せしな2Fキヤナル
16:00~	いっさく	16:00~	いっさく
16:00~	サン黒部	16:00~	サン黒部
16:30~	せしなホール	16:30~	せしなホール
17:00~	いっさく	17:00~	いっさく
20:00~	本町黒部	20:00~	本町黒部
20:00~	中野月夜	20:00~	中野月夜
20:45~	サン黒部	20:45~	サン黒部
20:00~	朝庭寺	20:00~	朝庭寺
20:45~	グリーンホール	20:45~	グリーンホール



9月21日(土)		9月21日(土)	
14:30~	せしなホール	14:30~	せしなホール
14:30~	せしなホール	14:30~	せしなホール
15:00~	せしな2Fキヤナル	15:00~	せしな2Fキヤナル
15:30~	いっさく	15:30~	いっさく
16:00~	せしなホール	16:00~	せしなホール
16:30~	いっさく	16:30~	いっさく
17:00~	朝庭寺	17:00~	朝庭寺
17:30~	いっさく	17:30~	いっさく

9月21日(土)		9月21日(土)	
10:00~	朝庭寺	10:00~	朝庭寺
10:30~	せしなホール	10:30~	せしなホール
10:30~	温泉噴水広場	10:30~	温泉噴水広場
10:30~	朝庭寺	10:30~	朝庭寺
11:00~	いっさく	11:00~	いっさく
11:30~	せしなホール	11:30~	せしなホール
12:00~	いっさく	12:00~	いっさく
12:30~	せしなホール	12:30~	せしなホール
13:00~	まちこめる	13:00~	まちこめる
13:00~	グリーンホール	13:00~	グリーンホール
13:30~	せしなホール	13:30~	せしなホール
13:30~	いっさく	13:30~	いっさく
14:00~	せしな2Fキヤナル	14:00~	せしな2Fキヤナル
14:00~	足湯おもて	14:00~	足湯おもて

アキラテア
バロック・クラシック
10月22日(日) 19:00開演
10月23日(祝) 19:00開演

指揮者: アキラテア
演奏者: アキラテア

おいしいモーツァルト
モーツァルトの音楽を聴く
10月23日(祝) 19:00開演
10月24日(月) 19:00開演

指揮者: モーツァルト
演奏者: モーツァルト

モーツァルト@宇奈月フェスティバル室内オーケストラ 公演

♪ ヴァイオリン協奏曲第2番 ニ長調 K.211

第1楽章 アレグロ・モデラート

第2楽章 アンダンテ

第3楽章 ロンド・アレグロ

ヴァイオリン独奏 岩谷祐之

休憩

♪ ディヴェルティメント ニ長調 K.136 (125a)

第1楽章 アレグロ

第2楽章 アンダンテ

第3楽章 プレスト

♪ 交響曲第29番 イ長調 K.201 (186a)

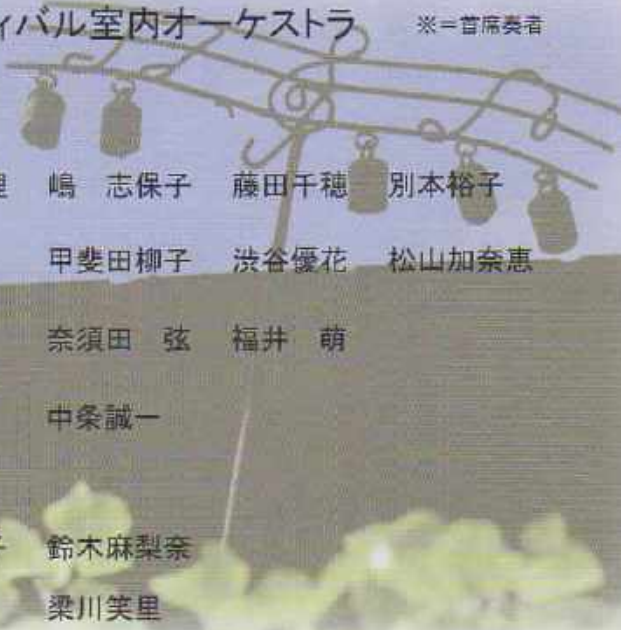
第1楽章 アレグロ・モデラート

第2楽章 アンダンテ

第3楽章 メヌエット

第4楽章 アレグロ・コン・スピリト

モーツァルト@宇奈月フェスティバル室内オーケストラ ※=首席奏者



リーダー	※ 岩谷祐之				
第1ヴァイオリン	新井紗央理	嶋 志保子	藤田千穂	別本裕子	
第2ヴァイオリン	※ 井上静香	甲斐田柳子	渋谷優花	松山加奈恵	
ヴィオラ	※ 内山隆達	奈須田 弦	福井 萌		
チェロ	※ 朝吹 元	中条誠一			
コントラバス	※ 竹田 勉				
オーボエ	関 美矢子	鈴木麻梨奈			
ホルン	安田健太	梁川笑里			

宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団 公演

♪ 歌劇「皇帝ティートの慈悲」 K.621 序曲

♪ ピアノ協奏曲第23番 イ長調 K.488 ピアノ独奏 塚田尚吾

♪ 交響曲第36番 ハ長調 「リンツ」 K.425

宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団 ※=コンサートマスター

指揮 横島勝人

第1ヴァイオリン	※ 宮本範子	杉本 理	田中 縁	辻 久直
	仲井美賀	名執純子		

第2ヴァイオリン	河原 毅	沼田典子	原 朝子	又場龍大
	矢野紗希	横山友美		

ヴィオラ	河原千佳子	清水淑恵	高田亮二	本多祐樹
------	-------	------	------	------

チェロ	倉田 歩	朴谷 修	堀田五月	
-----	------	------	------	--

コントラバス	藤島晃彦			
--------	------	--	--	--

フルート	石田孝弘	二上 久		
------	------	------	--	--

オーボエ	北岡 明	野崎めぐみ		
------	------	-------	--	--

クラリネット	佐々木桂治	古川友紀		
--------	-------	------	--	--

ファゴット	岡田健太	永原秀樹		
-------	------	------	--	--

ホルン	川添 等	坂井 禎		
-----	------	------	--	--

トランペット	上田智之	松住一史		
--------	------	------	--	--

ティンパニー	山口雅美			
--------	------	--	--	--

第4回音楽祭 9月21日(土)~9月23日(月・祝)

出演者数 445名(48組) 総観客数 6,965名 演奏会場 18箇所

音楽祭アルバム
2013年



合唱団 黒部グロリア(セレネ・ロビー)



コラーレ・キーボードオーケストラ
小さな子供たちによる「きらきら星」(温泉噴水広場)



増井恵梨によるピアノ演奏(いづく処)



富山大学フィルハーモニー管弦楽団(セレネ・ギャラリー)



モーツァルトの時代の楽器を復元したフォルテピアノと
バセットクラリネットの演奏(セレネ・小ホール)



「ニシムラヤスコダンスファクトリー」による
モーツァルトとダンスのコラボ(いづく処)



モーツァルト電車 車内での演奏会(左:アマですカルテット 右:クラフルズ)



増井恵梨

宇奈月モーツァルト音楽祭10周年おめでとうございます。大好きな「モーツァルト」と「温泉」を検索し、初めて訪れたのは2013年。以来、私にとって大切な場所となり毎年お邪魔しています。穏やかで集中力高い客席の皆さんと一緒にモーツァルトを奏でることができ、ピアニストとしてとても光栄です。温泉街ではモーツァルトを聞きながら美味しいお菓子や足湯を楽しむのはもちろん、そこで出会った皆さんと熱いモーツァルトトークを交わすのもこの音楽祭の醍醐味です。今年も再会できることを楽しみに宇奈月へ伺います。最後に、音楽祭を支えてくださる全ての皆さんに深く感謝いたします。

女声コーラスグループ「カンターレ」

篠崎富美子

音楽祭には2012年から参加しました。最初は、そろいのステージ衣装で街中にて歌うことが気恥ずかしくて妙に緊張しましたが、回を重ねるうちに私たちの楽しい年中行事の一つとなりました。また、2016年に青島広志作詞編曲の合唱劇「魔笛」より、「笛ふきパパゲーノ」を台詞や振り付けつきで演じると、お客様の反応がとても良かったので、じゃあ来年も、という事になり、意見を出し合い改良を重ね、4回も連続で演じました。そして「カンターレ」唯一の楽しい持ちネタとなりました。これも音楽祭のおかげと思っています。



アマですカルテット 寺崎健太郎

私たちのようなアマチュア演奏者にとって、演奏できる機会はとても貴重です。それがモーツァルト音楽祭では、控室が準備され、バスに乗って会場まで移動し、地元の温かなスタッフが付き、ホテルのロビー等の立派な場所で、自分から進んで聴きにきた聴衆がいる中で演奏できる。まるでプロの演奏家になったような気持ちになれる夢のような環境です。これまでお世話くださった方々に本当に感謝申し上げます。

○2011年9月19日 第2回音楽祭

「トークセッション モーツァルトを架け橋に～宇奈月とザルツブルク～」を開催する。

オーストリア大使館文化担当参事官を通し、ザルツブルク市長に堀内市長からの親書を手渡す。

2011年10月3日

黒部市長
堀内康男 殿

ザルツブルク市長
ハインツ・シャーデン

この度は、宇奈月でザルツブルクが生んだ偉大な作曲家モーツァルトに因んだ音楽祭を開催されたことをザルツブルク市長として大変喜ばしく思います。
こうした事実から、モーツァルトの音楽が持つ普遍的な魅力、そして文化的背景が異なる我々のような街が「音楽」という共通の言葉によって結ばれている素晴らしさが伝わります。
モーツァルトと彼の生れた故郷にこんなに深いお気持ちを持たれていることを感謝しています。



ザルツブルク市長からの返信

○2013年

音楽祭キャラクター「アマデウナツキン」、ザルツブルクを訪問し、音楽祭ブログに旅行記を連載する。



モーツァルトの生家前にて



モーツァルトの銅像と



お菓子とご対面

○2019年9月 第10回音楽祭

日本オーストリア友好150周年を記念し、オーストリア公使マリオ・フィールグラダー氏を招待する。

○2019年10月

音楽祭実行委員や関係者16名がザルツブルクを訪問し、国際モーツァルトウム財団関係者と面会。
大野市長の親書を手渡す。



シェンブルン宮殿前にて



夜のホーエンザルツブルク城



ミラベル庭園にて

宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団・合唱団 公演

指揮 横島勝人

♪ 交響曲第41番 ハ長調 K.551 「ジュピター」

♪ レクイエム ニ短調 K.626

宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団

※=コンサートマスター

第1ヴァイオリン	※ 宮本範子	杉本 理	田中 緑	辻 久直	沼田典子	名執純子
第2ヴァイオリン	河原 毅	仲井美賀	原 朝子	又場龍大	矢野紗希	
ヴィオラ	本多祐樹	清水淑恵	藤井優哉			
チェロ	朴谷 修	堀田五月	竹下 優			
コントラバス	長谷英寿	東松由羽子				
フルート	石田孝弘					
オーボエ	保科浩一	北岡佳苗				
クラリネット	佐々木桂治	古川友紀				
ファゴット	林田篤志	永原千春				
ホルン	川添 等	坂井 禎				
トランペット	古井清紀	荒野晃代				
トロンボーン	大田昭男	岩城 悟	熊木雅之			
ティンパニー	塩田 惇					

宇奈月アマデウス祝祭合唱団

※=独 唱 合唱指導 内山太一 三井 香

※ 三井 香

ソプラノ	大田ゆか子	音頭万里子	川尻久美子	榎田奈々子	杉澤禎子	寺島紀子
	中島弘美	松尾珠美	三井真弓	宮村美帆	村椿尚美	結城美喜子
アルト	太田美恵子	川戸る美子	篠崎富美子	島瀬節子	寸和京子	竹内美和子
	竹田由美	中田勝代	広川順子	森 律子	綿 真理子	
テノール	伊東景治	上田洋一	大崎晴夫	太田紘子	田中哲彦	八川 進
	福田茂信	松倉正機	松原英樹	宮崎昌訓	米澤憲二郎	
バス	飯田憲司	島倉敏夫	広野 誠	藤井 実	三井適夫	米田幹雄
	米田隆太郎					

塚田尚吾ピアノリサイタル

♪ ピアノソナタ第5番 ト長調 K.283

第1楽章 Allegro

第2楽章 Andante

第3楽章 Presto

♪ ピアノソナタ第13番 変ロ長調 K.333

第1楽章 Allegro

第2楽章 Andante cantabile

第3楽章 Allegretto grazioso



塚田尚吾 (ピアノ)

弦楽五重奏コンサート

♪ ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 ト長調 K.423

♪ 交響曲第40番 ト短調 K.550 (リヒテンタール編曲・弦楽五重奏版)

渋谷優花 (ヴァイオリン)

別本裕子 (ヴァイオリン)

嶋 志保子 (ヴィオラ)

内山隆達 (ヴィオラ)

池田洋子 (チェロ)



女声コーラス「カンターレ」(セレネ・ロビー)



松田梨子 & わこ(延対寺荘)

音楽祭アルバム
2014年



ジェイド・プラスアンサンブル(トロッコ広場)



ポムドール(セレネ・ギャラリー)

第5回音楽祭 9月20日(土)~9月21日(日)

出演者数 393名(51組) 総観客数 5,430名 演奏会場 17箇所

音楽祭アルバム
2014年



宇奈月中学校吹奏楽部(トロッコ広場)



富山ホルニステン(やまびこ橋)



MOTOHIRO(宇奈月グランドホテル)



「きてい・みゅーじっくるーむ」の演奏(宇奈月グランドホテル)



ブランシュ木管五重奏団(北陸銀行 宇奈月支店)



夜のロビーコンサート 弦楽五重奏(延対寺荘)

出演者からの メッセージ3



富山ホルニステン 清水米治

富山ホルニステンでは、年間スケジュールにこの音楽祭を組込み、年間を通して練習をしています。それほど、山びこ橋での演奏は刺激的で魅力的なものなのです。私たちのホルンの音が峡谷にこだまし、響き渡る！ この様な演奏機会は他にないのです。是非続けていただきたいと思います。

やまびこ橋にサルが
聞きにきたことも



オペラ・ルスティカーナ 植松 昌

宇奈月の町がモーツァルトの生誕地ザルツブルグにそっくりと言う事にヒントを得た町興しと言う卓抜なアイデアを掲げるこのモーツァルト音楽祭に参加を勧められた際、これは面白い！と感じつつも、遠隔地でもあり現実的には難しいと思ったが、我々のオペラを見てもらえるなら、宇奈月でも行こうとオペラオタクの面目躍如、問題の後先も考えずあっという間に参加を決めた。早速打ち合わせの為音楽祭関係者とお会いしてみると、何とこの音楽祭に携わっておられる方々は、我々オペラオタク顔負けの、モーツァルト音楽祭オタクで、この音楽祭に掛ける思いに圧倒された。何と言っても、町全体が音楽祭に奉仕するというスタッフの動員力、加えて皆さん筋金入りのモーツァルト好き。上演に際し30人のオーケストラメンバーを集めると言う難問も、この音楽祭の持つユニークなコンセプトの威力は絶大で、私の心配は杞憂となった。結果、2013年のフィガロの結婚を皮切りに、魔笛等モーツァルトのオペラを3年続けて上演させて頂き、宇奈月の皆様とモーツァルトを通じ心を通わす事が出来た事は、上演後皆様とご一緒した席での白エビと幻の瀧を満喫した事と共に、忘れ難い思い出となっている。



音楽祭の次の10年を思う時、このユニークなコンセプトが色褪せない限り、お客様は絶えることなく、何れかの日に宇奈月が本家ザルツブルグと姉妹都市になれば素晴らしいと期待しております。

音楽祭の雰囲気を盛り上げるため、いろいろなオリジナルグッズを制作しました。



スタッフ用Tシャツは、安全を考慮し、目立つ黄色が選ばれました。お客様から欲しいという声がたくさん寄せられました。スタッフ専用ということで…(でも2019年に販売しました)黒とグレーのTシャツは4大オペラがテーマです。

ご要望にお応えするため山岳専門店「モンベル」で販売用のTシャツを制作しました。さすがの性能です。



ピンズや缶バッジもつくりました。



音楽祭といえばこのオリジナルタオルですね。10年分を一挙に紹介。



切手も制作しました。52円、82円切手(当時の郵便料金)が各5枚でワンシートになっています。



スタッフ手作りのカゴに、音楽祭オリジナルミニタオルをいれてセットで販売。手作り巾着とモーツァルトせんべいのセットで販売した年もありました。



2015年コンサートガイド



ステージ以外のエリアは、すべて無料で楽しめます。期ごとに、演奏会場や時間に変更が生じる場合があります。

9月20日(日)	
15:30~	ピレネ3Fホール ① トリオMMO
16:00~	ピレネ3Fホール ② 櫻井雅也&森内将子 with 高野正樹
16:10~	平楽月朗ホール ③ カント・フーリー
16:10~	サンギョ ④ 武蔵音楽教室
17:00~	平楽月朗ホール ⑤ トリオMMO
17:00~	ピレネ1Fホール ⑥ Duo M&M
17:30~	ピレネ3Fホール ⑦ おもちゃの音楽合奏団

9月21日(祝)	
10:00~	ピレネ3Fホール ⑧ 黒部道声トリオ
10:30~	ピレネ1Fホール ⑨ 文部コーラスグループ
10:30~	ホテル逸仙 ⑩ Fleurite
11:00~	麻酔科 ⑪ Duo M&M
11:00~	ピレネ3Fホール ⑫ VIVA-Sun
11:30~	ピレネ1Fホール ⑬ 松田幸子&友
11:30~	ホテル逸仙 ⑭ 野ばらゆき
12:00~	ピレネ3Fホール ⑮ おもちゃの音楽合奏団
12:30~	ピレネ2Fホール ⑯ Fleurite
12:30~	まちこぼる ⑰ 3ピーストリオ
12:30~	延慶 ⑱ アソビブル・ホール
13:00~	ピレネ3Fホール ⑲ 二木 幸子、田中 雅介、松田 幸子
13:30~	ピレネ1Fホール ⑳ 横田 加枝子
14:00~	ホテル逸仙 ㉑ アソビブル・ホール
14:00~	ピレネ3Fホール ㉒ 舞臺アソビブル
14:30~	ピレネ1Fホール ㉓ コーラスHANA
15:00~	平楽月朗ホール ㉔ Andante Grazioso

9月20日(日)	
10:00~	ピレネ2Fホール ① コスミック
10:30~	ピレネ1Fホール ② 富山音楽専門学校吹奏部
10:30~	温泉噴水広場 ③ 高野正樹&森内将子
10:30~	岡徳寺 ④ さんまの会
11:00~	ホテル逸仙 ⑤ Theclafish
11:00~	まちこぼる ⑥ 富山市吹奏団
11:00~	ピレネ3Fホール ⑦ 塚田尚吾
11:00~	延慶 ⑧ 山本 万太郎
11:30~	カント・フーリー ⑨ サファイア
11:30~	ピレネ1Fホール ⑩ 6人バンド
12:00~	ピレネ2Fホール ⑪ トリオ・サン・ア・モン
12:00~	温泉噴水広場 ⑫ 山本 万太郎
12:00~	延慶 ⑬ 山本 万太郎
12:30~	まちこぼる ⑭ 山本 万太郎
12:30~	ホテル逸仙 ⑮ アソビブル・ホール
12:30~	ピレネ1Fホール ⑯ Klang
13:00~	平楽月朗ホール ⑰ 森 愛
13:00~	延慶 ⑱ フランシスカ
13:30~	延慶 ⑲ 舞臺アソビブル
13:30~	足湯おかげ ⑳ ジェイ・ブラス・アソビブル
13:30~	ピレネ1Fホール ㉑ 赤木 太郎
14:00~	温泉噴水広場 ㉒ ミラージュ・コンサート
14:00~	サンギョ ㉓ 豊の会
14:30~	まちこぼる ㉔ アソビブル・ホール
14:30~	ピレネ2Fホール ㉕ 和泉の会
15:00~	ピレネ1Fホール ㉖ 上村 幸子
15:00~	平楽月朗ホール ㉗ 入善音楽合奏団

9月21日(祝)	
10:00~	ピレネ3Fホール ① 黒部道声トリオ
10:30~	ピレネ1Fホール ② 文部コーラスグループ
10:30~	ホテル逸仙 ③ Fleurite
11:00~	麻酔科 ④ Duo M&M
11:00~	ピレネ3Fホール ⑤ VIVA-Sun
11:30~	ピレネ1Fホール ⑥ 松田幸子&友
11:30~	ホテル逸仙 ⑦ 野ばらゆき
12:00~	ピレネ3Fホール ⑧ おもちゃの音楽合奏団
12:30~	ピレネ2Fホール ⑨ Fleurite
12:30~	まちこぼる ⑩ 3ピーストリオ
12:30~	延慶 ⑪ アソビブル・ホール
13:00~	ピレネ3Fホール ⑫ 二木 幸子、田中 雅介、松田 幸子
13:30~	ピレネ1Fホール ⑬ 横田 加枝子
14:00~	ホテル逸仙 ⑭ アソビブル・ホール
14:00~	ピレネ3Fホール ⑮ 舞臺アソビブル
14:30~	ピレネ1Fホール ⑯ コーラスHANA
15:00~	平楽月朗ホール ⑰ Andante Grazioso

9月19日(土)	
14:00~	足湯おかげ ① ミラージュ・コンサート
14:30~	ホテル逸仙 ② 酒高 浩人、五十嵐 佳美
15:00~	延慶 ③ 黒部マン・ドリン・アソビブル
15:00~	ピレネ1Fホール ④ 山口 裕佳
15:30~	ピレネ3Fホール ⑤ カント・フーリー
16:00~	平楽月朗ホール ⑥ 久保 純正
16:00~	樹徳寺 ⑦ 世代を超えての子供
16:30~	平楽月朗ホール ⑧ 富山 雅也、柳林 隆、山本 雅也
16:30~	ピレネ1Fホール ⑨ 樽井 基則

ワンコ・チャリティ・茶会
9月20日(日) 10:00~14:00 会場 樹徳寺 主催 動物愛護会

塚田尚吾 ピアノリサイタル
9月20日(日) 11:00~11:45 会場 延慶

9月19日(土)	
10:00~	ピレネ1Fホール ① 酒高の会
10:30~	ピレネ3Fホール ② 伝説の科日、岩間まじよ
10:30~	まちこぼる ③ 西野 正樹
11:00~	ピレネ1Fホール ④ 五十嵐 佳子
11:30~	温泉噴水広場 ⑤ 富山地方放送吹奏楽団
11:30~	麻酔科 ⑥ Dragon river quartet
12:00~	ピレネ1Fホール ⑦ 交響子
12:30~	ピレネ2Fホール ⑧ ミラージュ・コンサート
12:30~	まちこぼる ⑨ 酒高 浩人、五十嵐 佳美
13:00~	本銀行 ⑩ 酒高 浩人、五十嵐 佳美
13:00~	ピレネ3Fホール ⑪ 黒部マン・ドリン・アソビブル
13:30~	温泉噴水広場 ⑫ 富山地方放送吹奏楽団
14:00~	ピレネ4Fホール ⑬ オペラ・ハウス・コンサート
14:00~	ピレネ1Fホール ⑭ MOTOHGO

ワンコ・チャリティ・茶会
9月20日(日) 10:00~14:00 会場 樹徳寺 主催 動物愛護会

塚田尚吾 ピアノリサイタル
9月20日(日) 11:00~11:45 会場 延慶

宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団・合唱団 公演

指揮 横島勝人

ソプラノ 吉野瑛莉子

♪ 交響曲第39番 変ホ長調 K.543

メソソプラノ 山本千鶴

♪ レクイエム ニ短調 K.626

テノール 近藤洋平

バリトン 小林大祐

宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団

※=コンサートマスター

第1ヴァイオリン ※粟津 惇 宮本範子 杉本 理 田中 緑 辻 久直 名執純子

第2ヴァイオリン 青山英里香 河原 毅 仲井美賀 沼田典子 又場龍大

ヴィオラ 扇 慎也 高田亮二 原 朝子 本多祐樹

チェロ 松井洋之 石井久美 朴谷 修

コントラバス 藤島晃彦 石川 綾

フルート 石田孝弘

クラリネット 佐々木桂治 大西 菜

ファゴット 岡田健太 篠崎秀一

ホルン 川添 等 坂井 禎

トランペット 古井清紀 荒野晃代

トロンボーン 大田昭男 大田和樹 熊木雅之

ティンパニー 塩田 惇

宇奈月アマデウス祝祭合唱団

合唱指導 内山太一 三井 香

三井 香 大田ゆか子 大野沙奈恵 音頭万里子 川尻久美子 櫻田奈々子

ソプラノ 杉澤禎子 寺島紀子 中島弘美 三井真弓 宮村美帆 村椿尚美
結城美喜子アルト 太田美恵子 川戸る美子 篠崎富美子 島瀬節子 寸和京子 宝田優孝
竹田由美 中田勝代 広川順子 松村美智代 森 律子 綿 真理子テノール 伊東景治 上田洋一 大崎晴夫 太田絃子 八川 進 福田茂信
松倉正機 松原英樹 宮崎昌訓 米澤憲二郎

バス 飯田憲司 島倉敏夫 広野 誠 藤井 実 三井適夫 米田幹雄

塚田尚吾ピアノリサイタル

- ♪ 幻想曲 二短調 K.397 (385g)
- ♪ 「ああ、お母さん聞いて」による12の変奏曲(きらきら星変奏曲)
ハ長調 K.265(300e)
- ♪ ピアノソナタ第8番 イ短調 K.310
 - 第1楽章 Allegro maestoso
 - 第2楽章 Andante cantabile con espressione
 - 第3楽章 Presto

塚田尚吾 (ピアノ)

宇奈月カルテット コンサート

- ♪ 歌劇「フィガロの結婚」序曲 K.492
- ♪ アイネ・クライネ・ナハトムジーク K.525
- ♪ 弦楽四重奏曲第14番「春」 K.387



宇奈月カルテット

粟津 惇 (ヴァイオリン) 青山英里香 (ヴァイオリン)
扇 慎也 (ヴィオラ) 松井洋之 (チェロ)



「Dragon river quartetto」(延対寺荘)



「櫻井麻那 & 森内ゆう子 with 素敵な仲間」
(セレネ・小ホール)

音楽祭アルバム
2015年



「コーラス HANA」(セレネ・ロビー)



「瀧藤浩人・五十嵐佳美」(ホテル桃源)

第6回音楽祭 9月19日(土)～9月21日(月・祝)

出演者数 618名(62組) 総観客数 7,090名 演奏会場 16箇所

音楽祭アルバム
2015年



瀬音の会による箏の演奏(セレネ・ロビー)



「アンサンブル・パレット」(まちこゆる)



「fluciaclafiu」の演奏(ホテル溪仙)



「サファイア」(グリーンホテル喜泉)



邦楽アンサンブル「雅」(セレネ・小ホール)



「世代を超えたデュオ」(樹徳寺)



「Duo M&M」の演奏(セレネ・ロビー)



おもちゃばこ記念合奏団(セレネ・小ホール)

二上 久

第1回から8年間出演させていただき、ありがとうございました。次のことを思い出しています。①【第1回】初日(2010/9/19)早朝6時、樹徳寺本堂で音楽祭の幕開け演奏をしたこと。②【第4回】第二フルートとして宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団の演奏に参加したこと。③【第6・7・8回】当時小学生だった北山陽彩さんとヴァイオリン・フルートの「超世代デュオ」を行ったこと。



fluclaclaflu(フルクラクラフル) 新林正子

モーツァルト音楽祭の魅力。それは音につられてどんどん聴衆が集まることではないでしょうか。こんなにモーツァルトの音楽を愛する人がいるのかと毎回ビックリさせられます。聴くぞ！という気合の入ったご婦人、温泉のついでに歩いて入ってくる親子。モーツァルトを知っていても知らなくても好きになってほしくて「自由にリラックスして聴いてくださいね」と決まり文句のように言っています。なんて素敵なお祭り！ 10周年おめでとうございます。

リコーダーアンサンブル・パレット 奥野知子

宇奈月モーツァルト音楽祭10周年おめでとうございます。スタッフの皆様をはじめ、モーツァルトを愛する方々のご厚意に感謝し、心よりお祝い申し上げます。「リコーダーアンサンブル・パレット」は、2年目から毎年楽しみに出演させていただいております。小学生からお馴染みのリコーダーですが、様々な大きさの楽器による編成でのハーモニーは、重厚で懐かしさと癒しのある響きを醸し出します。これからも、メンバーの力を結集し挑戦を続けていきます。



瀬音の会 上田優美

「瀬音の会」は金山雅一穂先生のもと箏や三味線を用いて日本の伝統音楽を学んでいます。また唱歌・ポピュラー曲などにも挑戦しています。先生の教えは「音を磨き音を楽しむ」「地道に続ける」です。音楽祭には2014年、おっかなびっくりのデビュー。去年は6回目の参加。その演奏を終えてようやく片目をつぶったモーツァルトが私たちにちょっぴり微笑んでくれたように感じました。安堵の笑顔がみんなを満たし、とても楽しいひと時でした。“なんてたってモーツァルト”大好き！このような素敵なお祭りスタッフの皆様には心より厚く感謝申し上げます。これからも宜しくお願い致します。